

令和3年度

教育研修実績集

令和3年度  
教育研修実績集



Fukuoka Nursing Association

公益社団法人 福岡県看護協会



# 発刊にあたって

平素より、福岡県看護協会教育研修事業に格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和3年度（2021年度）教育研修実績集の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

令和3年度は、COVID-19感染症の影響を大きく受けた前年度の実績を鑑み、このような危機状況下においても皆さまが安心して受講できる研修企画・運営を目指して参りました。具体的には、感染症蔓延期においても研修開催が可能で、かつ看護職が安全な状況で受講できる環境を提供することを大前提とし、更には研修内容に応じてより効果的となる手法を検討致しました。実際には遠隔講義、ハイブリット開催、オンライン研修など様々な手法を駆使し、令和3年度の研修をほぼ予定通り皆さまに提供することができました。研修効果についても、受講された皆さまが回答されたアンケート結果を見ますと、満足度、理解度、役立ち度いずれも高い評価を得ることができました。

実績集の発刊は13年目を迎えます。研修企画の段階では常に、前年度実績の評価を行い次年度の計画へ反映させており、受講生にとって効果的かつ有意義な研修になるように検討を重ねております。特に令和3年度は、COVID-19感染症対応人材育成強化として、新規に3つの研修を開催致しました。まずは、感染対策に於いて指導的立場にある看護職400名を対象にした「福岡県感染管理リーダー看護師育成研修」、次に看護職確保の観点から再就職のための看護技術セミナー「感染管理編」、そして「ワクチン接種実技講習会」です。研修内容・実施期間・受講人数等の詳細については、実績報告集を是非ご覧頂きたいと存じます。

福岡県看護協会はその使命に、「専門職業人として、常に看護の質の向上を図る」を掲げています。看護職のキャリア形成を支援し、多様化するヘルスケアニーズに対応できる人材の育成を図ることにより、人々の健康な生活の実現に貢献することを活動の中心に置いています。少子超高齢社会が伸展する我が国において、人々の健康を支える、生活を支える看護職の育成は、最重要事項と考え取り組んでいる所です。看護協会は、これからも看護職が専門職として生涯にわたり自律的に成長できるよう、教育への支援を続けてまいります。

最後になりましたが、研修開催にあたりお忙しい中ご講義を担当して頂きました講師の先生方、研修の企画・運営に関わって頂きました各委員会委員の皆さま、ほか関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和4年5月

公益社団法人 福岡県看護協会  
会 長 大和 日美子



# 令和3年度 目次

～発刊にあたって～

教育理念	5
<b>I. 教育研修事業（教育研修分類1～3）</b>	
1. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	7
1) 新人看護職員研修運営委員会実施	9
2) 教育委員会実施	11
3) 医療安全推進委員会実施	22
4) 感染管理委員会実施	25
5) 災害看護委員会実施	27
6) 保健師職能委員会実施	30
7) 看護師職能委員会Ⅰ実施	31
8) 看護師職能委員会Ⅱ実施	32
2. ラダーと連動した継続教育	33
1) 助産師職能委員会実施	35
3. 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	37
1) 教育委員会実施	39
<b>II. 教育研修事業（教育研修分類5）</b>	
1. 資格認定教育	43
1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）	
(1) ファーストレベル	45
(2) セカンドレベル	47
(3) サードレベル	49
2) 認定看護師教育課程	
(1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程	51
<b>III. 福岡県看護学会</b>	
1. 福岡県看護学会	59
1) 第21回福岡県看護学会（学会委員会）	61
<b>IV. 福岡県主催委託・補助事業（教育研修部研修）</b>	
1. 福岡県看護実習指導者講習会（県委託）	65

2. 福岡県特定分野看護実習指導者講習会（県委託）	67
3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）	
1）福岡県新人看護職員研修責任者研修（県委託）	68
2）新人看護職員教育担当者研修（県補助）	70
3）福岡県新人看護職員実地指導者研修（県委託）	72
4）新人看護職員研修アドバイザー派遣事業（県補助）	74
5）新人看護職員多施設集合研修（県補助） ※ I-1-1）へ掲載	
4. 福岡県看護職員認知症対応力向上研修（県委託）	75
5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修（県委託）	76
<b>V. 福岡県主催委託事業（ナースセンター・事業部研修）</b>	
1. 看護職員復職研修事業（県委託）	
1）病院等に就職したい方のための再就職支援研修	79
2）介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修	80
3）再就職のための看護技術セミナー（採血・注射編）	81
4）再就職のための看護技術セミナー（喀痰吸引編）	83
5）再就職のための看護技術セミナー（感染管理編）	84
2. 訪問看護師養成講習会（県委託）	
1）訪問看護師養成講習会（入門編）	85
2）訪問看護師養成講習会（新任期）	86
3）訪問看護師養成講習会（管理期）	88
<b>VI. 新型コロナワクチン接種関連研修（公益社団法人日本看護協会委託）</b>	
1）新型コロナワクチン接種のための実技講習会	93
2）新型コロナワクチン接種実技研修	94
<b>VII. 委員会企画交流会</b>	
1）助産師職能委員会実施	97
2）看護師職能委員会 I 実施	98
3）社会経済福祉委員会実施	99
4）看護の進路・進学支援委員会実施	100
5）在宅支援・訪問看護委員会実施	101

～編集後記～

## 〈教育理念〉

福岡県看護協会は、看護職のキャリア形成を支援し、多様化するヘルスケアニーズに対応し、人々の健康で幸福な生活の実現に貢献できる人材を育成する

## 〈教育目的〉

1. 多様化、複雑化する社会のニーズに対応し、質の高い看護を提供できる人材を育成する
2. 人の生命の尊厳と権利を尊重し、高い倫理観と専門性に基づく看護が提供できる人材を育成する
3. 自らキャリアを開発し自律した行動がとれる人材を育成する

## 〈教育目標〉

1. 科学的思考のもとで安全かつ質の高い看護を実践する能力を養う
2. あらゆる場で多職種と連携・協働をはかり効果的なケアが提供できる能力を養う
3. 多様な価値観を尊重し、倫理に基づく自律した行動がとれる能力を養う
4. 主体的に学びキャリア開発をすることができる能力を養う
5. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ看護を提供できる能力を養う

## 〈教育研修分類〉

分類	内容
1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 ①多様化、高度化、複雑化する社会ニーズに対応し、質の高い看護を提供するための、基礎的・専門的能力を支援する研修 ②さまざまな人や組織、地域をつなぎ、包括的なケアを提供できる能力を支援する研修 ③意思決定を支援する能力を高める研修 ④あらゆる場で多職種と協働し、チームで効果的なケアが提供できる能力を支援する研修 2) 政策提言に向けた研修 3) 診療報酬に関連した研修 4) 研究に取り組む能力支援に関連した研修
2 ラダーと連動した継続教育	1) 「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）」(CLoCMiP®) 2) 「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」(JNA ラダー) 3) 「病院看護管理者のマネジメントラダー（日本看護協会版）」
3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	1) 看護専門職として必要な管理に関する能力を支援する研修 2) 社会が求めるヘルスケアサービスを組織的に提供するための看護管理者の能力を支援する研修
4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1) 施設内教育における JNA ラダー活用のための研修 2) 都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象研修
5 資格認定教育	1) 認定看護管理者教育課程 2) 認定看護師教育課程

【福岡県看護学会】

【福岡県主催研修 ①教育研修部研修 ②ナースセンター研修】

【委員会企画交流会】





# I . 教育研修事業 (教育研修分類1)

## 1. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ 質の高い看護の普及に向けた継続教育

- 1) 新人看護職員研修運営委員会実施
- 2) 教育委員会実施
- 3) 医療安全推進委員会実施
- 4) 感染管理委員会実施
- 5) 災害看護委員会実施
- 6) 保健師職能委員会実施
- 7) 看護師職能委員会 I 実施
- 8) 看護師職能委員会 II 実施



## 1) 新人看護職員研修運営委員会実施

## (1) 新人看護職員多施設集合研修【オンデマンド研修】(県補助事業)

## ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な 基本姿勢と態度～	社会人・専門職業人としての心構え及び医療や看護を取り巻く環境について学び、これからの看護に活かす	看護を取り巻く環境 / 看護協会の役割 / 社会人・組織人とは / 専門職業人としての心構え / マナーとコミュニケーション / 看護倫理・情報管理	福岡県看護協会 会長 大和 日美子 福岡看護大学 飯野 英親
感染予防の基礎知識	感染予防の基礎知識について理解し、エビデンスに基づく感染対策と看護の実際を学ぶ	感染管理の基礎知識 / 標準予防策（手指衛生の必要性 / PPE 着脱・環境整備のポイント / 洗浄・消毒・滅菌について） / 労働者の安全管理 / 経路別感染予防策	九州医療センター 有川 法宏
看護に活かす フィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは / 呼吸器系・腹部のアセスメント（問診・聴診・打診・視診・触診）のポイント / 事例 / 看護記録・報告 / バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
看護に活かす フィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは / 循環器系のアセスメント（問診・聴診・打診・視診・触診）のポイント / 脳神経系のアセスメント（意識障害評価時のポイント） / 事例 / 看護記録・報告 / バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
基礎から学ぶ医療安全	医療安全の基礎知識を学び、患者および自分を守る重要性を理解する	医療安全とは / ヒューマンエラーと基本的安全行動 / 医療事故防止のための取り組み / コミュニケーション	福岡大学病院 押川 麻美
基礎から学ぶ褥瘡予防	エビデンスに基づいた褥瘡予防とケアが実践できる基礎知識を学ぶ	皮膚の構造と生理機能 / 褥瘡発生メカニズム / 危険因子に沿った褥瘡予防ケア（体圧分散ケア / ポジショニングのポイント / 栄養管理 / 予防的スキンケア）	福岡県看護協会 角井 めぐみ

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	配信期間	応募者数	決定者数	受講者数
フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～	6/1(火)～ 10/4(月)	836	836	829
感染予防の基礎知識		482	482	478
看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～		625	625	619
看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～		631	631	623
基礎から学ぶ医療安全	9/1(水)～ R.4年1/4(火)	442	442	423
基礎から学ぶ褥瘡予防		406	406	391
合 計		3,422	3,422	3,363

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=350)	68.9	29.4	1.4	0.0	0.3
	感染予防の基礎知識 (N=151)	82.7	16.6	0.0	0.0	0.7
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=218)	65.1	33.9	0.5	0.0	0.5
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=198)	66.7	32.3	0.5	0.0	0.5
	基礎から学ぶ医療安全 (N=132)	84.9	13.6	0.0	0.0	1.5
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=123)	78.1	19.5	0.0	0.0	2.4

(%)

満足度	研修テーマ	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=350)	59.4	38.9	1.4	0.0	0.3
	感染予防の基礎知識 (N=151)	74.1	25.2	0.0	0.0	0.7
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=218)	71.9	27.1	0.5	0.0	0.5
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=198)	71.2	26.8	0.5	0.0	1.5
	基礎から学ぶ医療安全 (N=132)	78.8	19.7	0.0	0.0	1.5
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=123)	74.0	23.6	0.0	0.0	2.4

(%)

役立ち度	研修テーマ	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=350)	67.4	31.7	0.6	0.0	0.3
	感染予防の基礎知識 (N=151)	86.1	13.2	0.0	0.0	0.7
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=218)	75.6	23.4	0.5	0.0	0.5
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=198)	75.8	23.7	0.0	0.0	0.5
	基礎から学ぶ医療安全 (N=132)	88.7	9.8	0.0	0.0	1.5
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=123)	84.5	12.2	0.0	0.0	3.3

## ④まとめ

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合研修ではなくオンデマンド研修を全6テーマ配信した。

昨年度は1研修あたりの講義時間が長いという感想が多かったため、今年度は講義をチャプター分割し、受講者が視聴しやすくなるよう改良した。また、フィジカルアセスメント研修は、講義内容が多いため2研修に分けて配信した。

受講者数は、昨年度と比較して大幅に増加した。受講者数増加の要因としては、研修数の増加と教育研修計画の予定通りに研修が配信できたためと考える。

受講者からは、自身の都合に合わせて繰り返し視聴できたという感想が多かった。アンケートの理解度、満足度、役立ち度いずれも概ね高評価だった。

新人看護職員多施設集合研修に関しては、近隣施設の新卒者との交流を図る機会等の目的もあるが、令和2年度以降はオンデマンド研修という形式をとっている。今後はコロナ禍でも新卒者同士の交流やネットワーク構築に貢献できる研修の検討が必要である。

## 2) 教育委員会実施

## (1) 集合研修

## ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
排泄を支える看護① ～排便障害へのケア～	排便障害を学び、QOLを高めるケアを理解できる	排便障害の分類/排便のアセスメント/排便障害への対処方法/QOLを高めるケア	日本コンチネンス協会九州支部 種子田 美穂子
ウイメンズヘルスケア ～女性のメンタルヘルス～	女性のライフサイクル特有のメンタルヘルスの基本的な知識や対応を学ぶことができる	産前・産後以外のメンタルヘルスケア/産前・産後のメンタルヘルスケア	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代
看護過程と看護記録	看護記録の原理原則や法的責任を学び、看護過程の展開実践に役立つ記録のあり方を理解できる	看護記録の目的・意義/看護記録の法的位置づけ/看護過程の展開/看護実践をどのように記録するか	第一薬科大学 長家 智子
人工呼吸器の看護に強くなろう!	人工呼吸器の仕組みや安全な人工呼吸器管理を理解できる/人工呼吸器装着患者の看護が理解できる	酸素療法の理解/NPPV管理/人工呼吸器の原理と主な換気様式(モード)/アラーム対応と緊急時の対処方法/人工呼吸器装着中の患者ケアのポイント	大牟田市立病院 富松 高司
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ ※遠隔講義	End of Life Care における看護職の役割について理解できる	End of Life Care とは何か? / 痛み・症状マネジメント / 意思決定支援	久留米大学病院 西村 知子
看護倫理 ～ケアの受け手を支える 倫理的関わり～ ※遠隔講義	看護倫理を学び、看護における倫理的配慮を理解できる	看護倫理とは / 倫理の歴史と法則 / 事例検討を通して倫理的課題を考える	甲南女子大学 秋元 典子
排泄を支える看護② ～排尿障害へのケア～ ※ハイブリッド開催	排尿障害を学び、QOLを高めるケアを理解できる	排尿障害の分類/排尿のアセスメント/排尿障害への対処方法/QOLを高めるケア	日本コンチネンス協会九州支部 種子田 美穂子
看護補助者の活用推進のための 看護管理者研修 改訂版 2020	効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就業環境について理解し、自施設における看護補助者と協働のための体制整備を考えることができる	看護補助者の活用に関する制度の理解/看護職との連携と業務整理/看護補助者の雇用形態と処遇等/看護補助者の育成・研修・能力評価/看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成	福岡大学病院 原田 英美 飯塚病院 倉智 恵美子 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 久留米大学病院 小川 由美

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
排泄を支える看護① ～排便障害へのケア～	7/8 (木)	0.5	250	95	95	79
ウイメンズヘルスケア ～女性のメンタルヘルス～	7/15 (木)	1	60	35	35	30
看護過程と看護記録	7/16 (金)	0.5	250	208	208	188
人工呼吸器の看護に強くなろう！	7/20 (火)	1	250	316	250	221
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～	7/30 (金)	0.5	250	169	169	155
看護倫理 ～ケアの受け手を支える倫理的関わり～	8/7 (土)	1	250	162	162	137
排泄を支える看護② ～排尿障害へのケア～	8/19 (木)	0.5	250	99	99	83
看護補助者の活用推進のための 看護管理者研修 改訂版 2020	R.4 年 1/12 (水)	1	60	136	100	94

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	排泄を支える看護① ～排便障害へのケア～ (N=26)	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0
ウイメンズヘルスケア ～女性のメンタルヘルス～ (N=30)	83.4	13.3	3.3	0.0	0.0	
看護過程と看護記録 (N=181)	46.4	52.5	1.1	0.0	0.0	
人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=64)	51.6	48.4	0.0	0.0	0.0	
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=92)	78.3	21.7	0.0	0.0	0.0	
看護倫理 ～ケアの受け手を支える倫理的関わり～ (N=93)	64.5	34.4	0.0	1.1	0.0	
排泄を支える看護② ～排尿障害へのケア～ (N=31)	64.5	35.5	0.0	0.0	0.0	
看護補助者の活用推進のための 看護管理者研修改訂版 2020 (N=27)	85.2	11.1	0.0	3.7	0.0	

（％）

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	排泄を支える看護① ～排便障害へのケア～（N=26）	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0
	ウイメンズヘルスケア ～女性のメンタルヘルス～（N=30）	83.3	10.0	6.7	0.0	0.0
	看護過程と看護記録（N=181）	42.5	52.5	5.0	0.0	0.0
	人工呼吸器の看護に強くなろう！（N=64）	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～（N=92）	63.0	25.0	8.7	3.3	0.0
	看護倫理 ～ケアの受け手を支える倫理的関わり～（N=93）	72.0	25.8	1.1	1.1	0.0
	排泄を支える看護② ～排尿障害へのケア～（N=31）	64.5	32.3	3.2	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための 看護管理者研修改訂版 2020（N=27）	81.5	14.8	0.0	3.7	0.0

（％）

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	排泄を支える看護① ～排便障害へのケア～（N=26）	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0
	ウイメンズヘルスケア ～女性のメンタルヘルス～（N=30）	76.7	20.0	3.3	0.0	0.0
	看護過程と看護記録（N=181）	52.5	44.8	2.7	0.0	0.0
	人工呼吸器の看護に強くなろう！（N=64）	64.1	34.4	1.5	0.0	0.0
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～（N=92）	69.6	26.1	1.1	2.2	1.0
	看護倫理 ～ケアの受け手を支える倫理的関わり～（N=93）	71.0	28.0	0.0	1.0	0.0
	排泄を支える看護② ～排尿障害へのケア～（N=31）	77.4	19.4	0.0	0.0	3.2
	看護補助者の活用推進のための 看護管理者研修改訂版 2020（N=27）	85.2	11.1	0.0	3.7	0.0

## 2) 教育委員会実施

### (2) オンライン研修

#### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ 【1回目】【2回目】	家族看護を理解し、看護実践場面での対応について学ぶ	家族看護の基本的な考え方 / 家族アセスメント / 実践場面での家族への対応 (演習)	東京慈恵会医科大学 児玉 久仁子
ナースができる浮腫へのアプローチ	浮腫のメカニズムを理解し、エビデンスに基づいたケアの方法を習得できる	浮腫の病態と症状 / アセスメント / エビデンスに基づいた浮腫ケア	合同会社 HANA NURSING THERAPY 山口 晴美
がん疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～	がん性疼痛の基礎知識や疼痛マネジメントについて理解できる / 疼痛緩和を通し継続看護が理解できる	がん疼痛治療の基本 / 難治性疼痛への対応 / がん疼痛のある患者・家族へのケア / アドバンスケアプランニング / 在宅を見据えたケアの実際	済生会福岡総合病院 野田 陽子
看護現場に活かす ファシリテーション技術	ファシリテーションの効果と概要を理解できる	ファシリテーションとは / ファシリテーションのスキル / 演習	ひとづくり工房 esuco 浦山 絵里
実践！脳卒中看護のきほん	脳血管障害について理解し、看護の実際を理解できる	脳卒中の基礎知識 / 部位別の症状とアセスメント / 脳卒中看護：急性期～維持期 / 生活と就労支援	九州労災病院 安永 恵
今、求められている 外来看護とは	外来に求められる看護の専門性と役割を理解できる	医療制度とこれからの外来看護 / 外来の機能と看護職に求められる役割 (地域連携・社会資源の活用等) / 患者個人のニーズに応じた効果的な支援	関西看護医療大学 箕浦 洋子
小児看護 Part1 ～フィジカルアセスメント～	小児のフィジカルアセスメントの方法を学び、異常の早期発見・対応ができる	小児フィジカルアセスメント / 異常の早期発見とその対応 (事例を通して)	福岡大学 松本 祐佳里
地域包括ケアに向けて 在宅看護の現場から	在宅療養の実際を知ることができる / 在宅支援に必要な知識を理解できる	在宅看護とは / 地域との連携・サポート体制 / 在宅での療養支援・チーム医療 (多職種連携) / 在宅療養に必要な知識と技術 / 看取りの支援	緩和ケア支援センター コミュニティ 平野 頼子
がん化学療法の看護ケア	がん化学療法の基礎知識や看護の実際を理解できる	基礎知識 / 化学療法中の看護ケアのポイント / アピアランスケア	九州がんセンター 鳥越 勇生
看護職が行う 入退院支援・調整	入退院支援・調整の基礎知識と看護の役割について学ぶ	入退院支援・調整が求められる背景 / 入退院支援・調整を担う看護職の役割 / 院内における入退院支援・調整プロセス / 入退院支援・調整の実際	地域包括ケアコンサルティングあるす 河野 政子
実践に活かす摂食・嚥下 障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～	摂食・嚥下障害のある患者のQOLを高めるためのケアを習得できる	口から食べる意義 / 摂食・嚥下のメカニズムと機能評価 / 口腔内の評価・口腔ケア / 摂食嚥下訓練の方法	藤田医科大学病院 三鬼 達人
大人の発達障害への上手な 関わり方 ～事例から理解を深めよう～	大人の発達障害について学び、職場での支援方法を理解できる	大人の発達障害とは / 発達障害の特性 / 発達障害に対する理解と対応 / 個人への支援 / 職場での支援	小倉記念病院 三木 浩司 後藤 明子
現場で役立つ！褥瘡ケア 応用編	褥瘡ケアの具体的な方法を理解できる	創傷治癒過程 / 褥瘡局所管理 改訂 DESIGN-R® 2020 と TIME 理論 / 外用薬とドレッシング材の概要と選択方法 / 事例検討	くるめ病院 青木 尚子
自分が元気になる方法を見つ けよう	メンタルヘルスに必要な知識・対処方法を学ぶ	メンタルヘルスの基礎知識 / ナースが抱えやすいストレスへの対処 / より良い環境を築くために / 演習 (ケーススタディ・ストレス要因分析)	九州大学 こころとそだちの相談室 姫島 源太郎
次年度に向けて始めよう！ 看護研究 ～臨床の質を上げる 看護研究のすすめ～	臨床における看護研究の必要性を理解し、臨床の場の疑問を研究テーマに結び付けることができる	看護研究とは / 臨床の場における看護研究の必要性 / 看護研究の種類と方法 / 研究テーマの絞り込み方 / 文献検索の方法 / 研究計画書の書き方	福岡県立大学 増満 誠
フィジカルアセスメント 応用編 ～事例を用いた緊急時 のアセスメント～	フィジカルアセスメントを用いて科学的看護の実践力を高める	フィジカルアセスメントの実際 / 事例検討	久留米大学病院 杉島 寛



## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【1回目】	8/10（火）	1	60	140	60	50
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【2回目】	8/11（水）	1	60	75	60	51
ナースができる浮腫へのアプローチ	8/25（水）	1	60	251	60	46
がん疼痛の看護ケア～入院から在宅まで～	9/1（水）	1	250	218	218	172
看護現場に活かすファシリテーション技術	9/9（木）	1	60	178	60	52
実践！脳卒中看護のきほん	9/22（水）	1	250	188	188	116
今、求められている外来看護とは	9/25（土）	1	200	107	107	81
小児看護 Part1 ～フィジカルアセスメント～	10/7（木）	1	250	89	89	67
地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から	10/9（土）	1	250	145	145	103
がん化学療法の看護ケア	10/12（火）	1	250	192	192	152
看護職が行う入退院支援・調整	10/18（月）	1	250	292	250	216
実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～	11/2（火）	1	250	180	180	138
大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～	11/5（金）	1	250	161	161	126
現場で役立つ！褥瘡ケア 応用編	11/12（金）	1	60	142	139	112
自分が元気になる方法を見つけよう	11/18（木）	0.5	250	94	94	68
次年度に向けて始めよう！看護研究 ～臨床の質を上げる看護研究のすすめ～	R.4年 1/8（土）	1	250	94	94	75
フィジカルアセスメント 応用編 ～事例を用いた緊急時のアセスメント～	R.4年 1/21（金）	1	60	33	28	20

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【1回目】 (N=42)		85.7	14.3	0.0	0.0
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【2回目】 (N=49)		83.7	16.3	0.0	0.0	0.0
ナースができる浮腫へのアプローチ (N=46)		69.6	28.3	2.1	0.0	0.0
がん疼痛の看護ケア～入院から在宅まで～ (N=156)		78.2	21.8	0.0	0.0	0.0
看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=48)		54.2	43.8	2.0	0.0	0.0
実践！脳卒中看護のきほん (N=101)		68.3	31.7	0.0	0.0	0.0
今、求められている外来看護とは (N=70)		61.4	38.6	0.0	0.0	0.0
小児看護 Part 1 ～フィジカルアセスメント～ (N=56)		67.9	30.4	1.7	0.0	0.0
地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=99)		67.7	31.3	1.0	0.0	0.0
がん化学療法の看護ケア (N=132)		55.3	42.4	1.5	0.8	0.0
看護職が行う入退院支援・調整 (N=170)		49.4	50.0	0.6	0.0	0.0
実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=123)		91.1	8.1	0.0	0.0	0.8
大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=110)	一部	55.5	40.0	4.5	0.0	0.0
	二部	75.5	23.6	0.9	0.0	0.0
現場で役立つ！褥瘡ケア 応用編 (N=94)		78.7	20.2	0.0	1.1	0.0
自分が元気になる方法を見つけよう (N=57)		89.5	8.8	0.0	0.0	1.7
次年度に向けて始めよう！看護研究 ～臨床の質を上げる看護研究のすすめ～ (N=60)		30.0	60.0	10.0	0.0	0.0
フィジカルアセスメント 応用編 ～事例を用いた緊急時のアセスメント～ (N=20)		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【1回目】(N=42)		81.0	19.0	0.0	0.0	0.0	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【2回目】(N=49)		79.6	20.4	0.0	0.0	0.0	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=46)		76.1	21.7	2.2	0.0	0.0	
	がん疼痛の看護ケア～入院から在宅まで～ (N=156)		78.2	21.8	0.0	0.0	0.0	
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=48)		87.5	10.4	2.1	0.0	0.0	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=101)		71.3	28.7	0.0	0.0	0.0	
	今、求められている外来看護とは (N=70)		64.3	32.9	2.8	0.0	0.0	
	小児看護 Part 1 ～フィジカルアセスメント～ (N=56)		64.3	33.9	1.8	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=99)		52.5	41.4	5.1	1.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=132)		62.9	34.8	2.3	0.0	0.0	
	看護職が行う入退院支援・調整 (N=170)		48.8	48.8	2.4	0.0	0.0	
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=123)		94.3	4.1	0.0	0.0	1.6	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=110)		一部	60.0	36.4	3.6	0.0	0.0
			二部	73.6	25.5	0.0	0.0	0.9
	現場で役立つ！褥瘡ケア 応用編 (N=94)		80.9	17.0	1.1	1.0	0.0	
	自分が元気になる方法を見つけよう (N=57)		82.5	15.8	1.7	0.0	0.0	
次年度に向けて始めよう！看護研究 ～臨床の質を上げる看護研究のすすめ～ (N=60)		36.7	55.0	8.3	0.0	0.0		
フィジカルアセスメント 応用編 ～事例を用いた緊急時のアセスメント～ (N=20)		85.0	15.0	0.0	0.0	0.0		

(%)

役立ち度	研修テーマ		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【1回目】(N=42)		85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～【2回目】(N=49)		85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=46)		65.2	34.8	0.0	0.0	0.0	
	がん疼痛の看護ケア～入院から在宅まで～ (N=156)		82.1	16.7	0.6	0.0	0.6	
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=48)		79.2	20.8	0.0	0.0	0.0	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=101)		75.2	24.8	0.0	0.0	0.0	
	今、求められている外来看護とは (N=70)		60.0	35.7	2.9	0.0	1.4	
	小児看護 Part 1 ～フィジカルアセスメント～ (N=56)		73.2	25.0	1.8	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=99)		60.6	37.4	1.0	0.0	1.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=132)		72.0	27.3	0.7	0.0	0.0	
	看護職が行う入退院支援・調整 (N=170)		55.3	44.1	0.6	0.0	0.0	
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=123)		87.8	11.4	0.0	0.0	0.8	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=110)		一部	57.3	37.3	5.4	0.0	0.0
			二部	73.7	24.5	0.9	0.0	0.9
	現場で役立つ！褥瘡ケア 応用編 (N=94)		89.4	9.6	0.0	1.0	0.0	
	自分が元気になる方法を見つけよう (N=57)		70.2	26.3	3.5	0.0	0.0	
次年度に向けて始めよう！看護研究 ～臨床の質を上げる看護研究のすすめ～ (N=60)		30.0	66.7	3.3	0.0	0.0		
フィジカルアセスメント 応用編 ～事例を用いた緊急時のアセスメント～ (N=20)		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0		

## 2) 教育委員会実施

## (3) オンデマンド研修

## ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
コロナ禍で実践する正しい感染防止対策	エビデンスに基づく感染防止対策と看護の実際が理解できる	感染防止対策について（スタンダードプリコーション・経路別感染防止対策・適切な防御用具の使用）/職業感染防止対策/新型コロナウイルス感染防止対策への取り組み	九州大学病院 小林 里沙
看護実践に活かすリスクマネジメント（令和3年度版）	リスクマネジメントの基礎知識について学び、事故防止及び発生時の対応を理解できる	医療事故と安全対策の動向と課題/リスクマネジメントとは/m-SHELL分析	社会保険田川病院 黒川 薫
フィジカルアセスメント基礎編～呼吸器・循環器～（令和3年度版）	科学的看護を実践するためにフィジカルアセスメントを理解できる	観察のポイント（聴診・打診・触診・視診）/フィジカルアセスメント（呼吸・循環）/報告・記録	久留米大学病院 杉島 寛
フィジカルアセスメント基礎編～脳神経・腹部～	科学的看護を実践するためにフィジカルアセスメントを理解できる	観察のポイント（聴診・打診・触診・視診）/フィジカルアセスメント（脳神経・腹部）/報告・記録	
心電図に強くなろう！（令和3年度版）	心電図の基本的知識及び正常・異常波形について理解できる	心電図の基本的な見方/不整脈の発生機序/不整脈発生時の看護	白十字病院 牛島 めぐみ
災害看護～現場で災害が起こったら～（令和3年度版）	災害時の看護職の役割を理解できる	災害看護とは/災害時における看護職の役割	社会保険大牟田天領病院 清末 定美
最新の心不全看護（令和3年度版）	心不全の病態を学び、QOLを高める援助方法について理解できる	心不全のフィジカルアセスメント/QOLを高める援助方法/退院支援/末期心不全の理解	小田切 菜穂子
現場で役立つ！褥瘡ケア基礎編（令和3年度版）	褥瘡予防の重要性を理解できる	皮膚の構造と生理機能/褥瘡発生メカニズム/褥瘡発生の予測/危険因子に沿った褥瘡予防ケア（体圧分散ケア・栄養管理・予防的スキンケア）	福岡県看護協会 角井 めぐみ

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	配信期間	応募者数	決定者数	受講者数
コロナ禍で実践する正しい感染防止対策	6/10（木）～ 10/12（火）	551	531	531
看護実践に活かすリスクマネジメント（令和3年度版）		275	270	270
フィジカルアセスメント基礎編～呼吸器・循環器～（令和3年度版）		463	445	445
フィジカルアセスメント基礎編～脳神経・腹部～		376	354	354
心電図に強くなろう！（令和3年度版）	7/6（火）～ 11/8（月）	625	609	609
災害看護～現場で災害が起こったら～（令和3年度版）		258	254	254
最新の心不全看護（令和3年度版）		489	476	476
現場で役立つ！褥瘡ケア基礎編（令和3年度版）		481	464	464

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	コロナ禍で実践する正しい感染防止対策 (N=299)	83.9	16.1	0.0	0.0	0.0
	看護実践に活かすリスクマネジメント (令和3年度版) (N=126)	65.1	34.9	0.0	0.0	0.0
	フィジカルアセスメント基礎編 ～呼吸器・循環器～ (令和3年度版) (N=167)	50.9	48.5	0.0	0.0	0.6
	フィジカルアセスメント基礎編 ～脳神経・腹部～ (N=116)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	心電図に強くなろう！ (令和3年度版) (N=155)	45.2	48.4	6.4	0.0	0.0
	災害看護～現場で災害が起こったら～ (令和3年度版) (N=108)	56.5	41.7	1.8	0.0	0.0
	最新の心不全看護 (令和3年度版) (N=150)	58.7	40.7	0.0	0.0	0.6
	現場で役立つ！褥瘡ケア基礎編 (令和3年度版) (N=149)	81.2	18.1	0.0	0.0	0.7

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	コロナ禍で実践する正しい感染防止対策 (N=299)	79.9	17.7	1.7	0.0	0.7
	看護実践に活かすリスクマネジメント (令和3年度版) (N=126)	70.6	29.4	0.0	0.0	0.0
	フィジカルアセスメント基礎編 ～呼吸器・循環器～ (令和3年度版) (N=167)	56.3	41.3	1.8	0.0	0.6
	フィジカルアセスメント基礎編 ～脳神経・腹部～ (N=116)	56.0	39.7	3.4	0.9	0.0
	心電図に強くなろう！ (令和3年度版) (N=155)	49.7	46.5	3.2	0.6	0.0
	災害看護～現場で災害が起こったら～ (令和3年度版) (N=108)	52.8	42.6	4.6	0.0	0.0
	最新の心不全看護 (令和3年度版) (N=150)	58.7	37.3	3.3	0.0	0.7
	現場で役立つ！褥瘡ケア基礎編 (令和3年度版) (N=149)	77.2	22.1	0.0	0.0	0.7

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	コロナ禍で実践する正しい感染防止対策 (N=299)	84.6	14.4	0.3	0.0	0.7
	看護実践に活かすリスクマネジメント (令和3年度版) (N=126)	75.4	23.0	0.8	0.0	0.8
	フィジカルアセスメント基礎編 ～呼吸器・循環器～ (令和3年度版) (N=167)	64.7	33.5	1.2	0.0	0.6
	フィジカルアセスメント基礎編 ～脳神経・腹部～ (N=116)	71.6	27.6	0.8	0.0	0.0
	心電図に強くなろう！ (令和3年度版) (N=155)	58.1	40.6	1.3	0.0	0.0
	災害看護～現場で災害が起こったら～ (令和3年度版) (N=108)	50.9	45.4	3.7	0.0	0.0
	最新の心不全看護 (令和3年度版) (N=150)	69.3	28.0	2.0	0.0	0.7
	現場で役立つ！褥瘡ケア基礎編 (令和3年度版) (N=149)	78.5	19.5	0.0	0.0	2.0

## 2) 教育委員会実施

## (4) 日本看護協会収録DVD研修

## ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	演習支援者
認知症高齢者の看護実践に必要な知識【1回目】	国の施策や医療の現状を理解することができる／入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる	認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み／認知症に関連する疾患と病態・治療／組織で取組む認知症高齢者ケア／認知症高齢者の看護に必要なアセスメント／認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術／認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方／多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方／認知症高齢者に適した療養環境と調整方法／認知症高齢者に特有な倫理的課題／認知症高齢者の意思決定支援	福岡和白病院 眞竹 史成
認知症高齢者の看護実践に必要な知識【2回目】			久留米大学 医療センター 堤 純子

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
認知症高齢者の看護実践に必要な知識【1回目】	9/28 (火) 9/29 (水)	2	250	279	250	229	228
認知症高齢者の看護実践に必要な知識【2回目】	10/14 (木) 10/15 (金)	2	250	261	250	236	231

## 2) 教育委員会実施

### (5) スキルアップ研修 看護研究コース (3日間)

- ①目的：1) 看護実践を研究としてまとめることができる  
2) それぞれが目標を設定し、発表に向けて取り組むことができる
- ②受講資格：1) 「次年度に向けて始めよう！看護研究～臨床の質を上げる看護研究のすすめ～」  
または看護研究に関する研修（令和3年度以前）を受講した者  
2) 学会や研究会で発表を予定している者  
3) 全日程を受講できる者

#### ③プログラム

	日程	テーマ	内容	講師
1日目	6/22 (火)	研究計画書を作ろう	研究の目的・意義 / 研究計画書の作成 / 個別指導	福岡県立大学 増満 誠
2日目	8/17 (火)	データ収集と分析	データの種類と処理方法 / データ分析方法 / 個別指導	日本赤十字九州国際看護大学 木村 涼平 帝京大学 森 雄太
3日目	10/26 (火)	研究のまとめと発表原稿作り	研究成果のまとめ方 / 論文の作成 / 個別指導	福岡国際医療福祉大学 阿南 沙織

※2日目・3日目公開研修 オンライン開催

#### ④受講状況

(人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
スキルアップ	9	23	23	22	16
1日目公開研修	51	62	62	57	
2日目公開研修	51	48	48	45	
3日目公開研修	51	41	41	35	

#### ⑤アンケート結果

(%)

理解度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ個別指導 (N=19)	68.4	26.3	5.3	0.0	0.0
	1日目公開研修 (N=75)	50.7	45.3	4.0	0.0	0.0
	2日目公開研修 (N=51)	27.5	62.7	9.8	0.0	0.0
	3日目公開研修 (N=17)	29.4	70.6	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ個別指導 (N=19)	63.2	31.6	5.2	0.0	0.0
	1日目公開研修 (N=75)	42.7	53.3	4.0	0.0	0.0
	2日目公開研修 (N=51)	31.4	56.9	5.9	5.8	0.0
	3日目公開研修 (N=17)	23.5	76.5	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ個別指導 (N=19)	68.4	21.1	10.5	0.0	0.0
	1日目公開研修 (N=75)	48.0	44.0	6.7	0.0	1.3
	2日目公開研修 (N=51)	33.3	58.8	5.9	2.0	0.0
	3日目公開研修 (N=17)	35.3	64.7	0.0	0.0	0.0

## 2) 教育委員会実施

### (6) まとめ

集合研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遠隔講義、ハイブリッド開催、オンライン研修など、様々な方法に変更して開催した。9月以降の研修は、原則、オンラインで開催することとし、メールでの情報配信やWebでの資料配布を導入する等、オンライン研修の体制を整えた。そうすることで、感染拡大により研修を中止することなく、決定者の7割程度が受講し、コロナ禍においても教育の機会を継続することができた。また、評価についても、研修方法による大きな差はなく、満足度、理解度、役立ち度ともに高い結果となった。

オンデマンド研修は、前年度好評であったため、1テーマを追加して企画した。今年度は、4～6チャプターに分けて撮影、配信し、視聴や復習がしやすくなったと受講者より評価された。今後もオンデマンド研修を継続し、内容を充実させることで、多くの方に学ぶ機会を提供することができるように取り組みたい。

スキルアップ研修看護研究コースは、今年度より7日間から3日間のプログラムに変更した。午前の講義は、公開研修で参加し、必要な項目のみを学ぶことができるようになった。午後の個別指導は、受講者それぞれの目標や研究の進捗に合わせた指導を受けることができるようになった。開催期間は短くなったが、2カ月に1回の研修の間にはクラウドシステムを使用したサポートもあり、受講者の7割程度が3日間の開催期間を「ちょうど良い」と回答した。また、個別指導での相談しやすい雰囲気やニーズに合わせた丁寧な指導により、受講者は楽しく前向きに取り組むことができたようだった。

### 3) 医療安全推進委員会実施

#### (1) 医療安全管理者養成研修【e-ラーニング/演習】(日本看護協会委託)

- ①目的：所属施設及び地域で医療安全管理業務を実践できる。
- ②対象者：医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者/上司の推薦があること/全時間受講可能なこと/看護師長に相当する職位以上にあることが望ましい

#### ③プログラム

eラーニング：35時間（日本看護協会プログラム）

講義及び演習（オンライン）：5時間 R4年1/16（日）、1/23（日） 10:00～16:00  
（福岡県看護協会にて2回に分けて実施）

内容	講師
安全文化の醸成	戸畑共立病院 水落 久子 北九州市立医療センター 村田 光代

#### ④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
120	124	124	120

#### ⑤アンケート結果 (%)

満足度 (N=84)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	44.0	56.0	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=84)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	45.2	53.6	1.2	0.0	0.0

#### ⑥まとめ

本研修は、今年度より日本看護協会より委託事業となった。全40時間のうち、eラーニング（35時間）以外の集合研修（講義および演習：5時間）を福岡県看護協会で開催した。最終的に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法を変更し、オンラインでの開催とした。

2回に分けて実施し、受講予定124名中120名が受講した。

オンラインであったが、グループワークでは司会を中心に事前課題をもとに活発に意見交換ができていた。

講義・演習について、医療安全推進委員会の委員全員で検討した。医療安全推進委員が講義、演習を担当したことにより、具体的な事例等を提示するなど、実践に活用しやすい内容になったのではないかと考える。



## 3) 医療安全推進委員会実施

## (2) リスクマネージャー研修

日程：6/24（木）

対象者：医療安全管理者（専従、専任、兼任）

## ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
医療事故の未然防止、事故発生時の対応について	患者が安心して安全な医療を受けられる環境を整えることができる 事故防止対策の評価と標準化ができる	「リスクマネジメント」と「クライシスマネジメント」 柔軟な文化：HRO、レジリエンス、Safety IとII 患者参加の医療安全 医療事故発生時の対応	九州大学大学院 鮎澤 純子

## ②受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
60	70	70	64

## ③アンケート結果 (%)

理解度 (N=26)	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	65.4	26.9	7.7	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=27)	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	74.1	18.5	7.4	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=26)	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	61.5	34.6	3.9	0.0	0.0

## ④まとめ

リスクマネージャーを対象とした研修であったため、主任以上の何らかの役職にある看護職の受講がほとんどであった。医療安全では高名な講師であったことから、定員を超える応募があった。

医療安全で使用される用語の定義から始まり医療安全で使用される用語の説明や事例、新型コロナウイルス感染症対策の事例を用いて Safety IとIIを解説するなど、短時間の研修の中に多くの要素を含む内容であったが、わかりやすかったのではないかと考える。

### 3) 医療安全推進委員会実施

#### (3) 医療安全研修【オンライン研修】

日 程：R.4年 2/25（金）

対象者：医療安全に関心のある看護職以外も可

##### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
臨床倫理と DNAR について	臨床倫理および DNAR の基礎知識を理解し、倫理的問題その対応について学ぶことができる。臨床の倫理的な課題について意識して対応できるようになるために、臨床倫理の考え方について学ぶ。	「生命・医療倫理」の歴史的背景 「安全管理と臨床倫理」 「倫理的に考える」ために大切なこと 「ジレンマ」とは 「倫理的である」ために必要なふたつの要素 事例検討	宮崎大学医学部 附属病院 板井 孝壱郎

##### ②受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
100	126	126	95

##### ③アンケート結果 (%)

理解度 (N=94)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	68.1	31.9	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=94)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	79.8	20.2	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=94)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	68.1	31.9	0.0	0.0	0.0

##### ④まとめ

臨床倫理の分野で活躍されている講師に依頼し、定員を超える応募があった。

倫理という日ごろから悩むことが多いことを、楽しくわかりやすく説明された。また事例検討では、身近な考えやすい場面を取りあげたため、理解度・役立ち度共に評価が高かったと考える。

事例検討については、グループワークを予定していたが、オンラインであり、また午後だけの研修であったためあまり長い時間を割くことができず、情報交換程度の時間しかとれなかった。

しかし、今後に向けて取り組んでいきたいことなど、今後の課題を見いだせた受講者が多く、実践に役立つ研修内容であったと考える。

## 4) 感染管理委員会実施

## (1) 高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修（精神科領域を含む）【オンライン研修】

- ①目的：介護療養型医療施設・高齢者施設での認知症・高齢患者（精神科領域を含む）における感染対策を理解し、スタッフに指導できる。
- ②目標：認知症患者も含む精神科領域の感染管理に関する知識を身につける。
- ③対象者：看護職及び看護職以外も可
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師
10/28 (木)	10:00～11:00	高齢者施設の感染対策 高齢者の特性 / 高齢者介護施設の特性	姫野病院 中西 穂波
	11:00～12:00	感染予防活動の実際	
	13:00～14:00	認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性	福岡県立 精神医療センター 太宰府病院 笹隈 友美
	14:10～15:10	高齢者施設におけるラウンドの実施状況や施設クラスターについて	コネクト合同会社 山口 征啓

## ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
150	91	91	67

## ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=65)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	96.9	3.1	0.0	0.0	0.0

(% )

満足度 (N=65)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	87.7	9.3	1.5	1.5	0.0

(% )

役立ち度 (N=65)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	90.8	7.7	1.5	0.0	0.0

## ⑦まとめ

昨年度まで、介護領域と精神科領域（認知症患者を含む）を分けて研修を実施していたが、特に精神科領域の受講者が少ない状況が続いていた。そのため、今年度から両領域を含んだ内容に一本化した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽オンライン研修となったことによりキャンセルもあったが、申し込み者数は増加した。

研修内容は、両研修を合体させたものに介護施設ラウンドの状況や新型コロナウイルス感染症のクラスター発生時の対応を加えた。その結果、理解度、満足度等高い評価につながったのではないかと考える。

#### 4) 感染管理委員会実施

##### (2) 流行性疾患研修【オンライン研修】

- ①目的：流行性疾患の感染対策において必要な基礎的知識を深める。
- ②目標：1.with コロナの時代における流行性疾患の感染対策に関する知識・技術が理解できる。  
2.自施設での流行性感染症対策における問題点や課題を抽出し、解決の糸口を見出すことができる
- ③対象者：看護職以外も可
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師
R.4 年 1/15 (土)	13:00～14:10	福岡県における新型コロナウイルス感染症の対応について～多職種連携・公的立場から～	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 野田 英一郎
	14:20～14:50	新型コロナウイルス感染症の流行期における保健師の活動	京築保健福祉環境事務所 守 真奈美
	14:50～16:00	流行性疾患の経験から考える感染症対策の未来	福岡徳洲会病院 伊藤 恭子

##### ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
100	88	88	76

##### ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=76)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	76.3	23.7	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=76)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	76.3	22.7	1.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=76)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	77.6	21.4	1.0	0.0	0.0

##### ⑦まとめ

昨年度は初めて新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、新型コロナウイルス感染症に焦点を当てた研修を2回実施した。今年度は、with コロナ時代という点に着目し、昨年初めの流行当初から公的立場で感染症対策に従事した医師及び保健師に活動の実際を報告、それを受け感染症看護専門看護師の立場から感染症対策の未来に発展させる内容とした。

新たにオミクロン株の流行が始まっている時期も相まって、新しい知識を獲得する内容はあまりなかったが、「タイムリー」「実践に活かせる」という感想が多く、内容・時期ともに適切であったと考える。

## 5) 災害看護委員会実施

## (1) 災害支援ナース育成研修【基礎編】（日本看護協会収録 DVD 研修）

①目的：看護専門職の災害時支援者として必要な基礎知識を習得し、災害支援ナースとしての役割や活動の実際を理解する。

②目標：

1. 災害の種類や特徴および、過去の災害医療の教訓と我が国における災害時の医療体制の概要がわかる
2. 災害サイクルの各期に必要な様々な場での災害看護の知識を習得する
3. 災害時に特徴的な健康被害・疾病の病態と看護の概要がわかる
4. 災害下での被災者および支援者のストレス反応の特徴を知り、そのケアや対処がわかる
5. 災害時の支援者としての心構えや倫理的配慮、安全に活動するための留意事項がわかる
6. 災害支援ナースの役割、機能、派遣の仕組みがわかる
7. 災害支援ナースとして活動するための平時の準備ができる
8. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる

③対象者：災害支援ナースを目指す者、または関心が高い者

④プログラム

日程	時間	内容	講師
1日目	7/28 (水)	9:40～12:00	災害医療の基礎知識 国立病院機構本部 DMAT 事務局 小井土 雄一
	13:00～16:30	災害時に求められる看護支援活動 災害サイクル別疾病構造と看護 国際医療福祉大学大学院 石井 美恵子	
2日目	7/29 (木)	9:30～11:30	災害時の心理変化とこころのケア 国立病院機構本部 DMAT 事務局 河寫 譲
		11:40～12:30	看護協会の災害時看護支援活動 公益社団法人日本看護協会 鎌田 久美子
		13:30～14:30	災害時の保健師の役割と災害支援 ナースとの連携 熊本県健康福祉部 健康局 岡 順子
		14:40～15:50	災害支援ナースとしての活動の 実際（避難所支援） くまもと県北病院 松崎 とよ子
			災害支援ナースとしての活動の 実際（病院支援） 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 松野 ひとみ
16:00～16:30	災害支援ナースの活動報告・登録・ 更新の手続き 災害看護委員会 委員長 吉開 香織		

⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
100	79	79	78	77

⑥受講方法 (人)

オンライン	集合	計
59	19	78

⑦アンケート結果 (%)

理解度 (N=75)	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	53.3	44.0	1.3	1.3	0.0

(%)

役立ち度 (N=75)	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	76.0	22.7	1.3	0.0	0.0

⑧まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から日程を変更しオンライン研修としたが、受講環境が整わない受講者には集合研修も実施した。アンケート結果では、理解度・役立ち度ともに95%以上が理解できた・役立ったと回答している。またオンライン研修で質問しやすい環境のためか2日目の最後の災害支援ナースの登録・更新についての項目では質問が多かった。

## 5) 災害看護委員会実施

### (2) 災害支援ナース育成研修【実務編】

- ①目的：1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する  
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる
- ②目標：1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる  
2. 災害支援ナースとして活動する際の基本的な心構えがわかる  
3. 災害支援ナースの活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる
- ③対象者：災害支援ナース育成研修【基礎編】受講修了者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師 / ファシリテーター
1日目	12/6 (月)	10:00～ 16:00	【災害看護委員】 吉開香織 (川崎病院) / 川野 健 (済生会二日市病院) 笹隈友美 (福岡県立精神医療センター太宰府病院) 米川真未 (福岡大学病院) / 松嶋宏美 (福岡山王病院) 里 将平 (小倉記念病院) / 田口裕子 (九州医療センター) 小畑亜紀子 (飯塚病院)
2日目	12/7 (火)	10:00～ 14:30	

### ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
80	65	62	59	59

### ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=61)	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
講義「DHEATについて」	50.0	39.3	7.1	3.6	0.0
講義「福岡県の災害医療体制について」	53.6	46.4	0.0	0.0	0.0
演習「災害発生時の情報収集」	51.7	44.8	3.4	0.0	0.0
演習「派遣決定から出発準備」	57.1	35.7	3.6	0.0	3.6
演習「携行品」	60.7	39.3	0.0	0.0	0.0
演習「災害支援ナースの心構え」	64.3	35.7	0.0	0.0	0.0
演習「チームビルディング / リーダー・メンバーの役割」	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
演習「移動中に行うこと」	64.3	35.7	0.0	0.0	0.0
講義「避難所」	53.6	46.4	0.0	0.0	0.0
演習「避難所における活動の原則」	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
演習「病院における活動の原則」	50.0	46.4	0.0	0.0	3.6
演習「マスコミ対応について」	64.3	32.1	0.0	0.0	3.6
演習「二次災害予防と安全管理」	57.1	39.3	0.0	0.0	3.6
演習「生活拠点の確保」	57.1	35.7	3.6	0.0	3.6
演習「他職種・他機関との連携」	57.1	39.3	3.6	0.0	3.6
演習「活動方針の決定・行動計画立案のための情報収集・アセスメント」	53.6	39.3	3.6	0.0	3.6
演習「新たな活動の依頼をされた時の行動」	60.7	28.6	3.6	0.0	7.1
演習「支援者のストレス」	59.3	37.0	0.0	0.0	3.7
演習「災害支援ナースの活動報告」	57.1	39.3	3.7	0.0	3.6
演習「災害支援ナースの活動記録」	60.7	28.6	3.6	3.6	3.6
演習「活動終了に向けての活動」	64.3	32.1	0.0	0.0	3.6
演習「活動の継続と収束」	53.6	39.3	3.6	0.0	3.6
演習「帰還後に行うこと」	60.7	35.7	0.0	0.0	3.6
演習「活動の成果と評価」	57.1	32.1	7.1	0.0	3.6

### ⑦まとめ

今年度は、福岡県の災害医療体制と DHEAT についての講義を新たに追加した。アンケート結果では、すべての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」との回答が 90% を超えており、講義とグループワークを通して災害支援ナースとしての活動の実際をイメージすることが出来たと考える。ただ今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講義のみの項目、グループワークは実施するも発表しない項目を導入する等、試行錯誤の実施となり、多少項目によって理解度の違いが見られた。例年通りグループワーク・発表・講義の演習を行うのがベストだが、短い時間でもグループワークにより、他の受講者の意見を聞く機会となり被災地での活動がイメージできるのではと考える。次年度は、派遣時の写真の活用、派遣経験者の話を織り交ぜる等、より派遣時の活動がイメージできるような工夫もしていく必要がある。

## 5) 災害看護委員会実施

## (3) 災害支援ナースフォローアップ研修

- ①目的：1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する  
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる
- ②目標：1. 平時から災害支援ナースとしての必要な自己完結型の心構えが分かる  
2. 災害支援ナースとして、災害のフェーズを捉え、活動場所の状況にあった活動方針を立案することができる  
3. 災害支援ナースとして、活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる  
4. 災害支援に関する最新の動向や情報が理解できる
- ③対象者：災害支援ナース登録者・再登録希望者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師 / ファシリテーター
11/16 (火) ・ 11/17 (水) 同内容を 2日間実施	10:00～ 16:30	福岡県の災害医療体制について / DHEAT について / 新型コロナウイルス感染症における避難所運営 / 活動計画立案のポイント / グループワーク / 活動報告	【災害看護委員】 吉開香織 (川崎病院) / 川野健 (済生会二日市病院) 笹隈友美 (福岡県立精神医療センター太宰府病院) 米川真未 (福岡大学病院) / 松嶋宏美 (福岡山王病院) 里 将平 (小倉記念病院) / 田口裕子 (九州医療センター) 村上貴子 (JCHO 九州病院) / 小畑亜紀子 (飯塚病院)

## ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
100	110	110	104	104

## ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=58)					
	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
講義「福岡県の災害医療体制について」	43.1	53.4	1.7	0.0	1.7
講義「DHEAT について」	34.5	60.3	1.7	3.4	0.0
講義「新型コロナウイルス感染症への対応について」	34.5	63.8	1.7	0.0	0.0
災害医療の原則 (CSCA) に沿って情報を整理し、アセスメントすることについて	46.6	51.7	1.7	0.0	0.0
災害のフェーズを捉え、活動場所の状況に応じた活動方針を立案することについて	43.1	55.2	1.7	0.0	0.0
災害支援ナースの活動を継続・収束するために必要な視点について	44.8	53.4	1.7	0.0	0.0
研修を通したチームビルディングについて	37.9	51.7	10.3	0.0	0.0
本日学んだ思考過程を活用し、チームでの活動方針の立案について	20.7	77.6	1.7	0.0	0.0

## ⑦まとめ

今年度は、福岡県の災害医療体制と DHEAT についての講義を新たに追加して実施した。アンケート結果では、「理解できた」「まあまあ理解できた」との回答が 90% を超えており、概ね理解できたと思われる。グループワークの事例については、最近の派遣がないため同じ事例をあげているが、次年度は、他県の事例等確認しながら、ホテル避難等の事例についても出せるよう準備が必要と考える。

## 6) 保健師職能委員会実施

### (1) 集合研修

#### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
今日から実践できる！ 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割	実践活動から地域ケアシステム構築のポイントと保健師の役割を学び、また、看護職間の連携推進のきっかけづくりとする。	地域包括ケアシステムにおける保健師の役割や活かせる技術について子育て世代への支援及び在宅医療・介護連携や地域づくりの視点で考える	あざかみこどもクリニック 香月 眞美 田川市立病院 山口 のり子 福岡県立大学 尾形 由起子

#### ②受講状況

(人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
11/13 (土)	1	250	40	40	35

#### ③アンケート結果

(%)

理解度 (N=18)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	38.9	59.3	1.8	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=18)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0

#### ④まとめ

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、感染対策を徹底し、集合研修で実施することができた。参加者は35名と少なかったが、病院の看護師の申込が多くあり、今回のテーマへの関心が高いことがわかった。受講者も熱心に受講され、アンケートの結果からも、講演内容をほとんどが理解できたと答えていた。また、受講生から、「保健師の役割を知る機会となった」「多職種連携、看護職間の連携について知るきっかけにはなった」等の意見があった。これらのことから、今回の目標は達成できたのではないかと考える。今後も看護職間の連携が推進されるためには、保健師のみでなく、看護職全体で地域包括ケアシステムについて考えることが必要であると考えている。



## 7) 看護師職能委員会 I 実施

## (1) 集合研修

## ①研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
特定行為研修 ～特定行為に係る看護師の育成と特定行為に係る看護師の活動の実際～	特定行為研修教育課程／特定行為研修を修了した看護師の活動の実際	日本看護協会 木澤 晃代 福岡赤十字病院 寺田 昌弘 済生会福岡総合病院 末永 健二
准看護師の進学支援と看護実践研修会 (SBAR 看護実践研修)	働きやすい職場づくり / ハラスメントの概念を理解し、パワーハラスメントがない職場をめざす	福岡大学筑紫病院 林 晶 専門学校麻生看護大学校 高橋 洋子

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
特定行為研修 ～特定行為に係る看護師の育成と特定行為に係る看護師の活動の実際～	9/15 (水)	1	100	40	40	38
准看護師の進学支援と看護実践研修会 (SBAR 看護実践研修)	10/30 (土)	1	100	13	13	10

## ③アンケート結果

(%)

役立ち度	研修テーマ	とても役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	全く役立たない	未回答
	特定行為研修 ～特定行為に係る看護師の育成と特定行為に係る看護師の活動の実際～ (N=14)	64.3	35.7	0.0	0.0	0.0
准看護師の進学支援と看護実践研修会 (SBAR 看護実践研修) (N=8)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

## ④まとめ

## 【特定行為研修 ～特定行為に係る看護師の育成と特定行為に係る看護師の活動の実際～】

日本看護協会理事より、新たな認定看護師制度への移行と移行支援をテーマに「なぜ、特定行為研修が必要か」「特定行為研修修了者は何をもたらすのか」「今、身近にある課題解決に向けて」の講演があった。その後、研修修了者2名から受講動機、活動の実際について報告いただいた。会場の看護管理者からは施設での支援方法や、これから特定行為を受講したいと考えている看護職からは実際の特定行為についての具体的な質問があった。今後も現場の看護の質の向上を目指し、特定行為看護師研修を継続していきたい。

## 【准看護師の進学支援と看護実践研修会 (SBAR 看護実践研修)】

今回は、“SBARで行う患者情報報告”について研修を行って頂いた。事例を用いてアセスメントを行い、医師役の講師にSBARを用いて報告するという参加型の研修であった。

参加者からは、「報告の仕方に自信がなく悩んでいたが、今回の研修で勉強したことを実践していきたい」「相手に分かりやすく、また簡潔に伝えることができるように日頃より使っていきたい」などの声が聞かれ、アセスメント力を上げる学びとなったようだ。

## &lt;進学説明会&gt;

通信制学校の特徴や学習方法などの説明があり、参加者からは「進学を検討しているため、良い刺激になり気持ちが高まった」「具体的な内容を知ることができ、役に立った」などの意見が聞かれた。

## 8) 看護師職能委員会Ⅱ実施

### (1) 集合研修

#### ①研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
在宅・施設看取り研修	「在宅での看取り」～それに関わる看護職間の情報共有、連携の推進	日本赤十字九州国際看護大学 西尾 美登里
在宅・施設管理者研修会	在宅・施設管理者のマネジメント力向上 (介護現場でのハラスメントと対応について)	介護・福祉系法律事務所おかげさま 外岡 潤

#### ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
在宅・施設看取り研修	9/11 (土)	1	100	155	89	77
在宅・施設管理者研修会	11/13 (土)	1	50	44	44	36

#### ③アンケート結果

(%)

役立ち度	研修テーマ	とても 役立つ	やや 役立つ	あまり できない	できない	未回答
	在宅・施設看取り研修 (N=71)	46.0	25.0	0.0	0.0	0.0
在宅・施設管理者研修会 (N=27)	70.0	26.0	4.0	0.0	0.0	

#### ④まとめ

##### 【在宅・施設看取り研修】

質問回答数は73 (回答率94.8%)、参加者の役職はスタッフが80%であった。

研修に対する全体の満足度は高く、特にグループワークによる満足度が高かった。

オンライン研修にて器材の不具合はなかったが、参加者からの質問対応、Zoomのブレイクアウト機能を用いた参加者の配分などは、看護協会からのスタッフのサポートが必要であった。グループワークの際、参加者自身のパソコン操作ができず、グループワークに入れなかったことがあったが、入れない参加者のグループを設定し対応した。研修の要望については、在宅医療について知りたいニーズを確認した。

来年度は、在宅医療に精通した医師からの講演を予定する。今後もグループワークの時間を設け、満足度が高い研修となるように取り組む必要がある。

##### 【在宅・施設管理者研修】

今回の研修で、管理者としてのハラスメントへの心構えやリスク管理など、事前に準備しておかなければならないことなどを学び、事前準備を整えることで解決策を見出すことが出来た。アンケート結果でも、ハラスメント解決にコンプライアンスの活用が有効であることや、具体的な判例を知ることができて良かったというご意見をいただいている。

今後、アンケート回答率を上げて有効な物にするために研修の時間の最後にアンケートに回答する時間を設ける工夫をする。アンケートの役職については管理者欄を設ける。未回答が多い箇所は自由記載欄を設けるなど記入しやすいように修正を加えていく。アンケートにもあったようにグループワークの時間はもっと長いほうがいいとあり、今後研修の時間の見直しも必要と考える。また、オンライン研修の在り方についても検討した。

来年度も継続して、在宅、施設管理者研修を開催したい。

# I . 教育研修事業 (教育研修分類2)

## 2 . ラダーと連動した継続教育

### 1) 助産師職能委員会実施



## 1) 助産師職能委員会実施

## (1) 新人助産師研修【オンライン研修】

- ①目的：助産基礎教育からの継続教育を行い、臨床助産能力を高め助産師人材教育を行う。  
 ②対象者：助産師経験3年目までの助産師  
 ③プログラム

日程	時間	内容	講師	
1日目	7/24 (土)	10:00～16:00	CTG／母体合併妊娠／産科出血	久留米大学 吉里 俊幸
2日目	8/7 (土)	10:00～11:00	周産期のメンタルヘルスケア	真田産婦人科麻酔科クリニック 島ノ江 栄子
		11:00～12:00	正常分娩の助産診断	帝京大学大学院 椎葉 美千代
		13:00～16:00	分娩介助の実際（演習）	愛和病院 田中 啓子 大牟田市立病院 長田 美智子 JCHO九州病院 早田 真由美 東野産婦人科 岩田 優香
3日目	8/22 (日)	10:00～16:00	助産の起源／助産倫理／哲学	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代

## ④受講状況 (人)

定員	定員	応募者数	決定者数	受講者数
1日目	40	59	59	54
2日目				57
3日目				53

## ⑤アンケート結果 (%)

理解度 (N=49)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	67.3	32.7	0.0	0.0	0.0

(% )

満足度 (N=49)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	95.9	4.1	0.0	0.0	0.0

(% )

役立ち度 (N=49)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0

## ⑥まとめ

助産基礎教育からの継続教育を行い、臨床助産能力を高め助産師人材教育を行うこと目的として研修を企画し開催している。新型コロナウイルス感染症蔓延により、方法をオンラインにするなど試行錯誤し開催した。終了時の受講生のアンケート結果では理解度・満足度・役立ち度で高い評価を得ることができた。

## 1) 助産師職能委員会実施

### (2) 院内助産スキルアップ研修【オンライン研修】

- ①目的：1. 多様化、複雑化する社会のニーズに対応し、質の高い助産を提供できる人材を育成する。  
2. 助産師のコア・コンピテンシーをもとに、高い倫理観と専門性に基づく助産が提供できる人材を育成する。  
3. 自らキャリアを開発し、自律した行動がとれる人材を育成する。
- ②目標：1. 知識・技術をブラッシュアップすることができる。  
2. 助産師に求められる役割を再認識し、自施設の改善に向けた新たな提案ができる。  
3. アドバンス助産師に必要なスキルを習得し、自己のキャリア開発に活用することができる。

③対象者：助産師

④プログラム

日程	時間	内容	講師
1日目 5/16 (日)	10:00～12:00	新型コロナウイルス妊産婦SOS —新型コロナウイルス感染拡大予防下における妊産婦の支援—	福岡市東区保健福祉センター 姫野 たまみ
	13:00～16:10	助産師出向システムの実例 in 福岡 出向元医療機関の立場から 出向先医療機関の立場から	福岡大学病院 長谷川 まどか 東野産婦人科 清田 哲子
2日目 5/30 (日)	10:00～12:10	不妊・不育の悩みをもつ女性の支援	産業医科大学 實崎 美奈 井上善レディースクリニック 松尾 則子
	13:10～16:10	乳腺炎と乳房ケア	葉っぱ助産院 山田 葉子
3日目 6/12 (土)	10:00～16:00	助産師のキャリア開発／助産師のコア・コンピテンシー	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代

⑤受講状況 (人)

定員	定員	応募者数	決定者数	受講者数
1日目	40	18	18	18
2日目				18
3日目				18

⑥アンケート結果 (%)

役立ち度 (N=18)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0

⑦まとめ

目的は助産師がクリニカルリーダーをステップアップし、助産専門職としての役割を社会に発信できる人材を育成することである。そのために院内助産スキルアップ研修（全3日間）を企画実施した。今年度はリアルタイム型オンラインでの開催となり18名の方が受講された。

# I . 教育研修事業 (教育研修分類3)

## 3 . 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進 するための力量形成に向けた継続教育

### 1) 教育委員会実施





## 1) 教育委員会実施

## (1) オンライン研修

## ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント	活力のある職場づくりに向けた、看護管理者によるスタッフのストレスマネジメントを学ぶ	ストレスとストレスマネジメント / ラインケアとは / スタッフを元気にするための演習	神戸大学医学部附属病院 倉持 裕子
WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～ 【1回目】【2回目】	円滑な人間関係を築くための交渉術について理解する	交渉の基本的な考え方 / 交渉のテクニック / 医療現場に活かす交渉術 / 看護管理者としての交渉術（演習）	上都賀総合病院 齋藤 由利子
看護マネジメントリフレクション	自分の看護管理実践を振り返ることができる	看護マネジメントリフレクションとは / 看護マネジメントリフレクションにおける概念化 / 演習	株式会社サフィール 河野 秀一
新人看護師の社会人基礎力の育て方	看護師の社会人基礎力の育て方について、新人看護師育成の視点から学ぶ	看護職としての社会人基礎力とは / コロナ禍での新人看護師を取り巻く現状の変化と課題 / 社会人基礎力育成のポイント / 事例を通して育て方、関わり方を考える	聖マリアンナ医科大学 高橋 恵
リーダーシップ入門編	職場における自己の役割を知り、リーダーシップを発揮する能力を高める	リーダーシップについて / リーダーに求められるスキル / リーダーシップとマネジメントとの違い / 自己の振り返り	山口大学医学部附属病院 原田 美佐
看護現場を変える0から8段階のプロセス～コッターの企業変革の看護への応用～	コッターの企業変革を用いて組織変革の方法を学ぶことができる	組織変革とは / コッターの企業変革8段階 / 看護現場への効用（演習）	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域連携体制を考える	地域医療構想（医療・看護の動向、疾病構造や住民の特徴など）を知ることができる / 地域医療構想から地域のニーズに基づいた看護実践及び管理の実際を知ることができる / 地域の看護ニーズと自部署の看護実践における課題を分析し、看護管理者としての役割を考えることができる	地域包括ケアの中での地域連携や多職種連携のあり方 / 地域における看護ニーズの分析に基づいた看護の実践及び事例報告 / 地域の看護ニーズと自部署の看護実践における課題分析及び看護管理者の役割（演習）	福岡県 真子 美和 赤間病院 岩谷 友子 株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
中途採用者が定着する職場づくり	中途採用者が働き続けられるための支援について学ぶ	中途採用者の背景・特徴 / 中途採用者の教育の問題と課題 / 中途採用者の支援体制 / 現場での取り組み（意見交換・グループワーク）	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 下山 節子

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント	8/24 (火)	1	60	103	60	47
WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～ 【1回目】	9/16 (木)	1	60	68	65	58
WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～ 【2回目】	9/17 (金)	1	60	61	61	49
看護マネジメントリフレクション	10/27 (水)	1	60	92	60	51
新人看護師の社会人基礎力の育て方	11/19 (金)	1	250	192	192	173
リーダーシップ入門編	12/3 (金)	1	250	202	147	147
看護現場を変える0から8段階のプロセス～コッターの企業変革の看護への応用～	12/13 (月)	1	60	79	79	68
地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域連携体制を考える	R4年 2/1 (火)	1	60	96	60	40
中途採用者が定着する職場づくり	R4年 2/15 (火)	1	60	72	60	36

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント (N=46)	89.1	10.9	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【1回目】(N=52)	76.9	23.1	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【2回目】(N=47)	63.8	36.2	0.0	0.0	0.0
	看護マネジメントリフレクション (N=48)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	新人看護師の社会人基礎力の育て方 (N=162)	67.9	32.1	0.0	0.0	0.0
	リーダーシップ入門編 (N=136)	56.6	43.4	0.0	0.0	0.0
	看護現場を変える0から8段階のプロセス～ コッターの企業変革の看護への応用～ (N=65)	73.8	26.2	0.0	0.0	0.0
	地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域 連携体制を考える (N=38)	73.7	26.3	0.0	0.0	0.0
	中途採用者が定着する職場づくり (N=29)	89.7	10.3	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント (N=46)	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【1回目】(N=52)	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【2回目】(N=47)	68.1	31.9	0.0	0.0	0.0
	看護マネジメントリフレクション (N=48)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	新人看護師の社会人基礎力の育て方 (N=162)	72.3	26.5	1.2	0.0	0.0
	リーダーシップ入門編 (N=136)	62.5	34.6	2.9	0.0	0.0
	看護現場を変える0から8段階のプロセス～ コッターの企業変革の看護への応用～ (N=65)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域 連携体制を考える (N=38)	71.1	26.3	2.6	0.0	0.0
	中途採用者が定着する職場づくり (N=29)	86.3	10.3	3.4	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント (N=46)	84.8	15.2	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【1回目】(N=52)	76.9	21.2	1.9	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【2回目】(N=47)	68.1	31.9	0.0	0.0	0.0
	看護マネジメントリフレクション (N=48)	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	新人看護師の社会人基礎力の育て方 (N=162)	72.8	27.2	0.0	0.0	0.0
	リーダーシップ入門編 (N=136)	64.7	32.4	2.2	0.0	0.7
	看護現場を変える0から8段階のプロセス～ コッターの企業変革の看護への応用～ (N=65)	75.4	24.6	0.0	0.0	0.0
	地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域 連携体制を考える (N=38)	71.1	28.9	0.0	0.0	0.0
中途採用者が定着する職場づくり (N=29)	86.2	13.8	0.0	0.0	0.0	

## 1) 教育委員会実施

## (2) スキルアップ研修 看護管理コース（5日間）

①目標：看護管理に必要な基本的知識・技術を習得できる。

- ②受講資格：1) 日本国の看護師免許を有するもの  
 2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上にある者  
 3) 管理的業務に関心がある者

## ③プログラム

	日程	テーマ	内容	講師
1日目	11/27 (土)	看護管理概論	看護管理概論 / 看護部の組織と責任 / 看護管理者に期待される役割	福岡看護大学 飯野 英親
2日目	11/29 (月)	看護実践における倫理 ※公開研修	専門職としての責務と法的根拠 / 看護師の倫理綱領 / 看護師の倫理的意思決定の基盤となる概念	千葉大学大学院 手島 恵
3日目	12/6 (月)	社会保障制度と看護サービスの経済性	社会保障制度と医療経済 / 保健医療福祉サービス提供体制 / 診療報酬制度における看護サービス評価 / 労務管理	社会医療法人喜悦会 樋口 広行
4日目	12/7 (火)	組織マネジメント	組織マネジメントの実際 / 組織の意思決定と変革 / 目標管理 / 看護チームのマネジメントとリーダーシップ	九州大学病院 濱田 正美
5日目	12/8 (水)	キャリア開発と人材育成	人材育成の基礎知識（成人学習の原理、役割理論、動機づけ理論、コーチング） / 人材を育てるマネジメント / キャリア開発支援と人材育成計画	北九州市立医療センター 杉本 優子

## ④受講状況 (人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
スキルアップ	60	88	60	57	55
公開研修	190	26	26	21	

## ⑤アンケート結果 (%)

理解度	テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理概論 (N=61)	75.4	23.0	0.0	0.0	1.6
看護実践における倫理 (N=61)	75.4	24.6	0.0	0.0	0.0	
社会保障制度と看護サービスの経済性 (N=61)	49.2	45.9	3.3	0.0	1.6	
組織マネジメント (N=61)	78.7	21.3	0.0	0.0	0.0	
キャリア開発と人材育成 (N=61)	77.0	23.0	0.0	0.0	0.0	
公開研修 (N=14)	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	

(% )

満足度	テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理概論 (N=61)	80.4	18.0	0.0	0.0	1.6
看護実践における倫理 (N=61)	85.2	14.8	0.0	0.0	0.0	
社会保障制度と看護サービスの経済性 (N=61)	55.7	36.1	4.9	0.0	3.3	
組織マネジメント (N=61)	82.0	18.0	0.0	0.0	0.0	
キャリア開発と人材育成 (N=61)	82.0	18.0	0.0	0.0	0.0	
公開研修 (N=14)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	

(% )

役立ち度	テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理概論 (N=61)	83.6	14.8	0.0	0.0	1.6
看護実践における倫理 (N=61)	90.2	9.8	0.0	0.0	0.0	
社会保障制度と看護サービスの経済性 (N=61)	45.9	41.0	9.8	0.0	3.3	
組織マネジメント (N=61)	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0	
キャリア開発と人材育成 (N=61)	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0	
公開研修 (N=14)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0	

## 1) 教育委員会実施

### (3) まとめ

新型コロナウイルス感染拡大により全ての集合研修をオンラインに変更して開催した。グループワークを伴う研修が多かったが、Web 会議システムの機能の活用と演習方法の工夫により予定通りの内容で研修を実施することができた。受講者の感想では、「グループワークでの意見交換が大変有意義で勉強になった」「いろんな視点からの意見を聞くことができてよかった」等とグループワークに関する評価が高かった。

スキルアップ研修看護管理コースは、プログラムを見直して企画した。前年度は新型コロナウイルス感染拡大のため一部日程のみを単発研修として開催したが、今年度はオンラインに変更し、5日間コースとして開催することができた。5日間のうち4日間で演習があり、受講者間の意見交換や情報交換の機会を得ることができた。また、自施設での現状分析や課題抽出を行うことで、すぐに実践で活かすことができると満足度、役立ち度が高い結果となった。

次年度も開催方法に関わらず効果的な研修が開催できるように取り組みたい。

## Ⅱ. 教育研修事業 (教育研修分類5)

### 1. 資格認定教育

- 1) 認定看護管理者教育課程 (認定看護管理者教育運営委員会)
  - (1) ファーストレベル
  - (2) セカンドレベル
  - (3) サードレベル
- 2) 認定看護師教育課程
  - (1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程



## 1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）

## (1) 第35回 第36回 ファーストレベル教育課程

- ①教育目的：看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。
- ②到達目標：1.ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。  
2.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。  
3.看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。
- ③受講要件：1.日本国の看護師免許を有する者  
2.看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者  
3.管理業務に関心がある者

## ④カリキュラム

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
特別講義	3	1)論文・レポートの書き方	論文・レポートの基本構成 / 論文・レポートの書き方の基本 / 基本的な思考法 / 論文・レポートの体裁 / 文献活用の方法	日本看護キャリア開発センター 下山 節子
ヘルスケアシステム論Ⅰ	15	1)社会保障制度概論	社会保障制度の体系 / 社会保障の関連法規	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明
		2)保健医療福祉サービスの提供体制	保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム / 地域共生社会	さくら病院 吉瀬 由美
		3)ヘルスケアサービスにおける看護の役割	看看連携 / 地域連携における看護職の役割 保健医療福祉関連職種の理解 看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 / 倫理綱領 / 看護業務基準	一般財団法人平成紫川会 玉井 照美
資源管理Ⅰ	15	1)組織マネジメント概論	組織マネジメントに関する基礎知識 / 看護管理の基礎知識	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
		2)看護実践における倫理	看護実践における倫理的課題 / 倫理的意思決定への支援	第一薬科大学 中尾 久子
統合演習Ⅰ	30	1)労務管理の基礎知識	労働法規 / 就業規則 / 健康管理（メンタルヘルスを含む） / 雇用形態 / 勤務体制 / ワークライフバランス / ハラスメント防止	社会医療法人喜悦会 樋口 広行 千早病院 山本 美子
		2)看護チームのマネジメント	チームマネジメント / リーダーシップとメンバーシップ / コミュニケーション 看護ケア提供方式 / ファシリテーション / 准看護師への指示と業務 / 看護補助者の活用	九州大学大学院 人間環境学研究院 山口 裕幸 小倉記念病院 松岡 さおり
		3)人材育成の基礎知識	成人学習の原理 / 役割理論 / 動機づけ理論 人材育成の方法	九州大学大学院医学研究院 能登 裕子 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代
資源管理Ⅰ	15	1)経営資源と管理の基礎知識	診療・介護報酬制度の理解 / 経営指標の理解 看護活動の経済的効果	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明 産業医科大学若松病院 三輪 ゆかり
		2)看護実践における情報管理	医療・看護情報の種類と特徴 / 情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）	福岡看護大学 飯野 英親
質管理Ⅰ	15	1)看護サービスの質管理	看護サービスの基本概念 看護サービスの質評価と改善 / 看護サービスの安全管理 / 看護サービスと記録	山口大学大学院 角田 由佳 九州がんセンター 赤星 誠美
統合演習Ⅰ	21	演習	学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する	筑後市立病院 大塚 まり子 聖マリア病院 神代 明美 福岡徳洲会病院 瀬上 希代子 大手町病院 高崎 玲子 福岡記念病院 野田 建二 福岡大学病院 山口 美和 今津赤十字病院 山本 由香 糸島医師会病院 横田 敏子 福岡県看護協会 本多 里美
合計	114時間			

## ⑤受講状況

(人)

	実施日	教育日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
第35回	6/3(木)～8/6(金)	21日間	60	147 (前年度受講内定者 75名を含む)	56	54
第36回	10/1(金)～12/9(木)	21日間	60		57	57 (第34回受講者 4名を含む)

修了者数および認定者数・累計

(人)

令和2年度(第34回)までの累計	3,635
令和3年度(第35回)修了者数	54
令和3年度(第36回)修了者数	56
令和3年度(第34回 第36回)までの累計	3,745

## ⑥アンケート結果

(1) 講義・演習評価&lt;自己評価&gt;(教科目別平均)

4段階評価 3～0点

開催回	教科目	事前に十分に準備をして講義・演習に臨んだ	主体的に積極的に講義・演習に取り組んだ	集団の一員として学びやすい環境づくりに取り組んだ	提示された内容を含め十分に事後学習に取り組む予定である	シラバスに提示された教育目的・目標を達成した	今後の学習意欲が高まった
第35回	特別講義(レポートの書き方)	2.2	2.4	2.5	2.7	2.3	2.6
	ヘルスケアシステム論 I	2.0	2.4	2.5	2.6	2.4	2.6
	組織管理論 I	2.2	2.6	2.7	2.7	2.7	2.8
	人材管理 I	2.3	2.6	2.7	2.7	2.6	2.8
	資源管理 I	2.2	2.6	2.6	2.7	2.5	2.7
	質管理 I	2.3	2.6	2.7	2.7	2.6	2.7
	統合演習 I	2.6	2.8	2.8	2.9	2.6	2.7
第36回	特別講義(レポートの書き方)	2.1	2.5	2.5	2.7	2.4	2.8
	ヘルスケアシステム論 I	2.0	2.5	2.6	2.6	2.4	2.6
	組織管理論 I	2.3	2.7	2.7	2.8	2.7	2.8
	人材管理 I	2.2	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
	資源管理 I	2.1	2.6	2.6	2.7	2.6	2.6
	質管理 I	2.4	2.6	2.7	2.8	2.7	2.7
	統合演習 I	2.7	2.8	2.9	2.9	2.8	2.9

## ⑦まとめ

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症禍での開催であったが、感染防止対策、環境調整を行いながら、前後期2回すべての課程を集合研修で行うことができた。受講者からはコロナ禍で受講できた安堵感や、感染対策が十分で安心した等の声が寄せられた。

受講者は積極的に取り組み、グループワークでの意見交換も活発に行っていた。閉講時アンケートでは、「受講の効果」「受講の満足度」ともに高評価であり、教育目的は達成できたと考える。



## 1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）

## (2) 第22回セカンドレベル教育課程

- ①教育目的：看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。
- ②到達目標：1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。  
2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。
- ③受講要件：1. 日本国の看護師免許を有する者  
2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者  
3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者、または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

## ④カリキュラム

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
ヘルスケアシステム論Ⅱ	15	1) 社会保障制度の現状と課題	日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の（財源）構造と推移	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明
		2) 保健医療福祉サービスの現状と課題	保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
		3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	多職種によるチームケア提供の実際と課題	福岡赤十字病院 松永 由紀子
組織管理論Ⅱ	30	1) 組織マネジメントの実際	組織分析 組織の変革 組織の意思決定	桜十字病院 菊池 健 医療法人社団福寿会 深澤 優子 九州大学病院 濱田 正美
		2) 看護管理における倫理	看護管理における倫理的課題 看護管理における倫理的意決定	第一薬科大学 中尾 久子
		3) 教科目演習	看護管理における倫理的課題を共有し、どのように意思決定を行うか検討する	長崎医療センター 西山 ゆかり 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀
人材管理Ⅱ	45	1) 人事・労務管理	人員配置 / 勤務計画 / ワークライフバランスの推進 / タイムマネジメント / 労働災害とその対策 / 労務管理に関する今日的課題	九州医療センター 原田 久美子
			ストレスマネジメント ハラスメント予防策と対応	大分県立看護科学大学 廣田 真里
		2) 多職種チームのマネジメント	人的資源の活用	久留米大学 古村 美津代
			リーダーシップの実際 / コンフリクトマネジメント / 看護補助者の育成	大分中村病院 岐部 千鶴
3) 人材を育てるマネジメント	キャリア開発支援	日本赤十字九州国際看護大学 阿部 オリエ		
	人材育成計画	兵庫医科大学病院 丸山 美津子		
4) 教科目演習	看護師のキャリア開発、人材育成の視点で自部署の現任教育の在り方を分析し、成長し続ける教育システムを考える	北九州市立医療センター 杉本 優子 嘉麻赤十字病院 皆川 悦子		
資源管理Ⅱ	15	1) 経営資源と管理の実際	医業収支 / 経営指標の活用 / 費用対効果	九州大学 尾形 裕也
			適切な療養環境の整備	株日本メディカルプロパティマネジメント 相馬 陽胤
2) 看護管理における情報管理	看護の評価・改善のための情報活用	福岡看護大学 飯野 英親		
質管理Ⅱ	30	1) 看護サービスの質保証	クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	福岡県立大学 石田 智恵美 山口大学大学院 角田 由佳 福岡大学病院 中川 朋子
			2) 安全管理	安全管理の実際 / 安全管理教育 / 法令遵守 / 災害対策

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
統合演習Ⅱ	45	1) 統合演習ⅡA	自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	千早病院 山本 美子
				社会保険田川病院 井原 資子
				福岡大学病院 原田 英美
				福岡赤十字病院 山根 理恵子
				産業医科大学病院 深川 直美
		福岡県看護協会 大浦 一美		
2) 統合演習ⅡB	地域包括ケアシステムの実現に向け、多職種連携、他施設連携のあり方について理解を深め、自部署の課題を明らかにし、解決策を考える	一般財団法人平成紫川会 玉井 照美		
		飯塚病院 田村 美恵		
3) 実習	地域連携を理解するための自施設実習を行う	福岡県看護協会 大浦 一美 各施設看護管理者		
合計 180時間				

⑤受講状況 (人)

実施日	教育日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
9/9(木)～12/17(金)	33日間	40	38	38	38

修了者数および認定者数・累計 (人)

令和2年度までの累計	1,077
令和3年度修了者数	38
令和3年度までの累計	1,115

⑥アンケート結果

(1) 講義・演習評価<自己評価> (教科目別平均)

4段階評価 3～0点

教科目	私は、提示された事前学習を含め十分に準備をして講義・演習に臨んだ	私は、主体的・積極的に講義・演習に取り組んだ	私は、講義・演習中、集団の一員として学びやすい環境づくりに取り組んだ	私は、提示された内容を含め十分に事後学習に取り組む予定である	私は、シラバスに提示された教育目的及び到達目標を達成した	私は今後の学習意欲が高まった
ヘルスケアシステム論Ⅱ	1.9	2.4	2.6	2.6	2.1	2.6
組織管理論Ⅱ	2.2	2.6	2.7	2.7	2.6	2.8
人材管理Ⅱ	2.3	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7
資源管理Ⅱ	2.2	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6
質管理Ⅱ	2.3	2.6	2.6	2.7	2.6	2.6
統合演習Ⅱ	2.8	2.9	2.9	2.8	2.7	2.8

⑦まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講定員数を縮小(50名⇒40名)し、3密(密集・密接・密閉)を避ける環境を整え、CO<sub>2</sub>センサーの設置、講義前の健康チェック等予防策の徹底を図った。また、ZOOMによるオンライン授業(福岡県外4名の講師)、演習(グループワーク)は2～3か所の研修室に分散、統合演習Ⅱの他施設実習を自施設実習へ変更等の対策を講じて実施した。受講者も健康管理には十分に気を付けて受講しており、全員が無事に修了することができた。受講者アンケート結果は総体的に高評価にて、「対面授業でとても充実していた」「苦手としていた自部署の課題と対策を立案するまでの過程を習得でき今後も積極的に自部署の改善に取組みたい」「他施設の方々と情報交換できたことも大きな学びとなった」等のコメントもあり、効果的な研修であったと評価する。

## 1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）

## (3) 第11回サードレベル教育課程

- ①教育目的：多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。
- ②到達目標：1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。  
2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。  
3. 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。
- ③受講要件：1. 日本国の看護師免許を有する者  
2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者  
3. 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

## ④カリキュラム

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
ヘルスケアシステム論Ⅲ	30	1) 社会保障制度・政策の動向	社会保障の将来ビジョン グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHOの活動、国連SDGs等	厚生労働省大臣官房国際課 深谷 果林
		2) 看護制度・政策の動向	看護制度の変遷と政策／看護政策に関する審議会・検討会／制度変化に伴う看護管理への影響と対応／看護戦略とパワーの活用／職能団体による政策への影響力	大阪信愛学院大学設置準備室 岩澤 和子
		3) ヘルスケアサービスの創造	ヘルスケアサービスのマーケティング／社会的企業（ソーシャルエンタープライズ）／テクノロジーの活用	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明
			NGO、NPOのヘルスケアサービス ヘルスケアサービスのシステム構築 看護事業の開発と起業	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 角田 直枝
		在宅におけるヘルスケアサービス 地域連携を基盤としたヘルスケアサービス	西九州大学 上野 幸子 福岡赤十字病院 井手 麻利子	
組織管理論Ⅲ	30	1) 組織デザインと組織運営	ダイバーシティ／組織運営に必要な能力／経営者としての成長と熟練	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 古閑 慎一郎
			組織のデザイン／組織間のネットワークのデザイン／地域連携ネットワークのデザイン	日本看護協会看護研修学校 吉村 浩美
		2) 組織における倫理	経営者に求められる役割と必要な能力 組織戦略とパワーの活用	九州大学病院 濱田 正美
		3) 教科目演習	組織における倫理的課題 倫理的課題に対する組織的対応	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
			トップマネジャーとして必要な倫理的 意思決定について検討する	福岡市立こども病院 三輪富士代 筑後市立病院 深野 加代子
人材管理Ⅲ	15	1) 社会システムと労務管理	能力評価のためのシステムの構築／建設的な労使関係の構／人材フローのマネジメント／ハラスメントの組織的対応	川崎医科大学総合医療センター 山田 佐登美
			賃金制度／人事考課／労働関係法規の最新の動向	福岡東医療センター 末次 剛輝
		2) 看護管理者の育成	看護管理者の能力開発、活用	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
資源管理Ⅲ	30	1) 経営戦略	医療経営の特徴と課題／戦略策定	九州大学 尾形 裕也
			医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題	産業医科大学若松病院 三輪 ゆかり
		2) 財務管理	財務会計／管理会計／資金管理	恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 正木 義博
		3) 組織的情報管理	関連法規の遵守地域における情報共有・活用	産業医科大学病院 林田 賢史
質管理Ⅲ	30	1) 経営と質管理	ガバナンスとアカウンタビリティ 医療・看護の質とデータ活用	山口大学大学院 角田 由佳
			医療・看護の質とデータ活用／第三者評価	福岡大学病院 中川 朋子
		2) 組織の安全管理	安全文化の醸成 医療事故防止のための組織的対策 危機管理	九州大学大学院医学研究院 鮎澤 純子 福岡赤十字病院 佐藤 章子
		3) 教科目演習	医療・看護におけるクオリティマネジメントに関する自施設の課題を明確にし、 対策を考える	飯塚病院 森山 由香 医療法人三井会 神代病院 野田 順子

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
統合演習Ⅲ	45	1) 統合演習ⅢA	学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する	福岡県看護協会 梅崎 淳子 宗像医師会病院 今村 朋子 小西第一病院 安河内 清子 共立病院 小夏 香代
		2) 統合演習ⅢB	21世紀の望ましい保健医療福祉政策について、看護の視点から政策の提言ができる	聖マリア病院 中島 成子 那珂川病院 松村 真理子
		3) 実習	経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する	福岡県看護協会 梅崎 淳子 各施設看護管理者
合計 180時間				

⑤受講状況 (人)

実施日	教育日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
7/1(木)～9/29(水)	33日間	30	35	35	30

修了者数および認定者数・累計 (人)

令和元年度までの累計	295	※令和2年度サード休講
令和3年度修了者数	29	
令和3年度までの累計	324	

⑥アンケート結果

(1) 講義・演習評価<自己評価> (教科目別平均)

4段階評価 3～0点

教科目	私は、提示された事前学習を含め十分に準備をして講義・演習に臨んだ	私は、主体的、積極的に講義・演習に取り組んだ	私は、講義・演習中、集団の一員として学びやすい環境づくりに取り組んだ	私は、提示された内容を含め十分に事後学習に取り組む予定である	私は、シラバスに提示された教育目的及び到達目標を達成した	私は今後の学習意欲が高まった
ヘルスケアシステム論Ⅲ	2.2	2.5	2.6	2.6	2.3	2.7
組織管理論Ⅲ	2.4	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7
人材管理Ⅲ	2.4	2.6	2.6	2.7	2.6	2.8
資源管理Ⅲ	2.4	2.6	2.7	2.8	2.6	2.7
質管理Ⅲ	2.4	2.6	2.6	2.7	2.6	2.8
統合演習Ⅲ	2.4	2.7	2.7	2.8	2.5	2.8

⑦まとめ

サードレベルは、昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から休講にしたため、昨年度の受講内定者がサードレベルを受講した。1年待っての受講となったため、受講者は積極的に講義や演習に取り組んでいた。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、ZOOMによる遠隔授業（関東地方講師4名）、演習は2カ所の研修室に分かれフェイスシールドの着用、統合演習Ⅲの実習を自施設実習へ変更等を行った。閉講時アンケート結果から、「受講の効果は、とてもあった96%」、「受講の満足度は、とてもあった96%」と高評価であった。自由記載として、「集合研修への感謝」と「仲間とのネットワークが築けた」等が多かった。以上の事から目標は達成されたと評価する。

## 2) 認定看護師教育課程

## (1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程

## ①教育目的：

1. 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践ができる能力を育成する。
2. 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族の看護において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導ができる能力を育成する。
3. 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族の看護において、看護実践を通して他の看護職者に対して相談対応・支援ができる能力を育成する。

## ②期待される能力：

1. 褥瘡や下肢創傷などの創傷を有する患者及びそのリスクがある患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと創傷管理ができる
2. ストーマ保有者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと排泄管理ができる
3. 排泄障害を伴う患者及びそのリスクがある患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと排泄管理ができる。
4. 脆弱皮膚をもつ患者に対しアセスメントを行い、皮膚障害を予防する専門的なスキンケアができる
5. 創傷管理や排泄管理を要する患者にフィジカルアセスメントを行い、かつ心理的、社会的及びスピリチュアルな問題を理解し、問題解決のための援助ができる。
6. 創傷管理や排泄管理を要する患者とその家族が病状に応じた自己管理ができるよう、生活に則した効果的な指導ができる。
7. 創傷管理や排泄管理を要する患者とその家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。
8. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。
9. 皮膚・排泄ケアの実践を通して、役割モデルを示し、看護職者への指導、相談対応・支援を行うことができる。

## ③教育カリキュラム

項目	教科目	教科のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
必須共通科目	1.医療安全学： 医療倫理 (必須)	実践の場において、対象の人権擁護・知る権利・自律性(自己決定)を尊重した看護を提供するため、医療倫理についての理解を深め、実践活動にどのように反映できるか考察する。	1.医療倫理の理論 2.医療倫理の事例検討	15 (1)	中尾 久子 浦邊 尋美
	2.医療安全学： 医療安全管理 (必須)	医療現場における安全管理をめぐる取り組みの経緯、医療事故発生のメカニズムについて理解する。また、実践の場において、看護職者及び他職種との連携を図り、医療事故を防止するための情報収集・分析・対策立案・評価・フィードバックを実践する能力を習得する。	1.医療管理の理論 2.医療管理の事例検討 3.医療安全の法的側面 4.医療安全の事例検討・実習	15 (1)	秋好美代子
	3.医療安全学： 看護管理 (必須)	わが国の保健医療制度の仕組みと動向を理解し、社会や地域住民のニーズに対応する医療サービスや看護のあり方を考察する。 また、実践の場において質の高い看護サービスを効果的・効率的に提供するための戦略や自身の役割機能の展開などについて検討する。	1.ケアの質保証の理論 2.ケアの質保証の事例検討	15 (1)	樋口 靖子 角井めぐみ 浦邊 尋美
	4.チーム医療論 (特定行為実践) (必須)	質の高い医療・看護の効果的・効率的な提供に向けたチーム医療の推進について考察する。また、多職種協働の課題及び集団や組織の目標・課題を達成する上で必要なリーダーシップについて理解する。	1.チーム医療の理論と演習・実習 2.チーム医療の事例検討 3.多職種協働の課題 ※特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割を含む	15 (1)	原田 美佐 山口 弘恵
	5.相談 (特定行為実践) (必須)	対象及び組織内外の看護職者や他職種などに対してコンサルテーションを行う際の知識や方法論について習得する。さらに、自らの役割と能力を超える看護が求められる場合には、自ら支援や指導を受けることの重要性について理解する。	1.コンサルテーションの方法	15 (1)	永石 恵美 園田みずき 角井めぐみ
	6.臨床薬理学： 薬理作用 (必須)	安全確実な薬剤投与を行うため、薬物動態を踏まえた薬物の作用機序と、主要薬物の薬理作用・副作用について理解する。	1.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 ※年齢による特性(小児/高齢者)を含む	15 (1)	鶴木亜矢子 内山 将伸 宮崎 元康 福田まひる

項目	教科目	教科のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
必須共通科目	7.指導 (必須)	組織内外の看護職者に対して、実践を通して知識・技術を共有し、相手の能力を高めるための指導能力を習得する。	1.生涯教育と生涯学習 2.成人学習者への教育について 3.教材観(主題観)、対象者観、指導観について 4.学習指導案の作成・発表	15 (1)	窪田 恵子 青木 久恵 角井めぐみ
	8.対人関係 (必須)	実践の場において、対象の理解に必要な基本的知識やスキルを習得する。	1.対人関係論 2.コミュニケーションスキル 3.対人関係演習	15 (1)	寺岡征太郎 角井めぐみ 浦邊 尋美
	9.医療情報論 (選択)	実践の場において、研究論文等を含む医療情報を効率よく収集・解析・伝達するための方法を習得する。また、情報倫理の観点から、医療情報の適切な取り扱いについて理解する。	1.医療情報の定義 2.文献検索によるエビデンスの確認 3.医療情報の収集と活用 4.情報倫理 5.医療情報管理	15 (1)	徳永智恵美 土肥佐和子
専門科目	1.皮膚・排泄 ケア概論	1.皮膚・排泄ケア領域の概念や歴史について理解する。 2.皮膚・排泄ケア領域において必要となる緩和ケアについて理解する。 3.皮膚・排泄ケア領域において必要となるリスクマネジメントについて理解する。 4.皮膚・排泄ケア領域における診療報酬について理解する。 5.皮膚・排泄ケア領域における地域連携について理解する。 6.褥瘡管理における医療の質評価について理解する。 7.医療チーム活動における認定看護師の役割について理解する。	1.皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の概念 1)対象理解 2.皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の歴史 3.皮膚・排泄ケア領域における緩和ケア 4.皮膚・排泄ケア領域におけるリスクマネジメント 1)災害に備えた対策 5.皮膚・排泄ケア領域に関連する診療報酬の現状と将来予測 6.皮膚・排泄ケア領域における地域包括ケアシステムの概念 1)在宅療養における地域連携 2)在宅療養における支援体制 7.褥瘡管理における質の評価 1)褥瘡発生率・褥瘡有病率 2)褥瘡の治癒期間 3)褥瘡予防用品の整備 8.組織ダイナミクス 1)チーム活動における認定看護師の役割 (問題解決能力等を含む)	15 (1)	溝上 祐子 平川 道子 柳迫 昌美 田中多喜子 浦邊 尋美
	2.皮膚のアセス メントとケア	1.専門的なスキンケアを行うために必要な皮膚の形態・機能について理解する。 2.皮膚に影響を与える因子について理解する。 3.皮膚の状態に応じたアセスメント方法とケアについて理解する。	1.皮膚と皮下組織(骨を含む)に関する局所解剖 2.ヒューマンインターフェイス概念 3.皮膚に影響を与える内的・外的因子 1)内的因子:年齢・疾患・免疫能等 2)外的因子:物理的・刺激化学的・刺激等 4.皮膚のアセスメント 1)皮膚の症候:ドライスキン・浸軟等 2)皮疹の種類と特徴 3)皮膚損傷:表皮剥離・びらん潰瘍等 4)皮膚感染症:真菌・細菌 5.脆弱皮膚の特徴(病態を含む)とケア 1)高齢者 2)低出生体重児 3)浮腫(リンパ浮腫含む) 4)黄疸 5)治療:化学療法・放射線療法・ステロイド・移植(GVHD)等 6.スキンケア用品 1)予防的スキンケア用品:洗浄剤・保湿剤・皮膚保護剤・被膜剤・剥離剤等 2)治療的スキンケア用品皮膚保護剤等 3)その他:医療用粘着テープ	30 (2)	溝上 祐子 深川 修司 間宮 直子 浦邊 尋美

項目	教科目	教科のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
専門科目	3.精神面のアセスメントとケア	1.患者・家族の心理をアセスメントするために必要となる理論について理解する。 2.患者・家族の心理状態に応じたケアについて理解する。	1.ストレスコーピング 1) ストレス理論 2) ストレスを引き起こす要因 3) 治療とストレスマネジメント 4) 援助方法 2.ボディイメージ 1) ボディイメージの定義 2) ボディイメージの変化に対する適応 3.悲嘆 1) 悲嘆の定義 2) 悲嘆反応 3) 援助方法 4.危機理論 1) 危機の定義 2) 危機モデル 3) 危機介入 5.家族理論 6.スピリチュアルケア 7.セクシャリティ	15 (1)	梶原 睦子 寺岡征太郎 三木 佳子 角井めぐみ 浦邊 尋美
	4.栄養のアセスメントと管理	1.栄養状態をアセスメントするために必要となる評価方法について理解する。 2.皮膚・排泄ケア領域に関連する栄養管理を行うために必要となる管理方法及び栄養剤の種類と特徴について理解する。	1.栄養状態のアセスメント 1) 主観的包括的評価 (SGA: subjective global assessment) 2) 客観的栄養評価 (ODA: objective data assessment) 3) 栄養経路 2.栄養管理 1) 周術期の栄養管理 2) 栄養必要量の算定 3) 経口摂取による栄養管理: 栄養補助食品の種類と特徴 4) 経腸栄養管理: 経腸栄養剤の種類と特徴	15 (1)	石橋 生哉 斎藤 恵子
専門基礎科目	[排泄管理] 5.排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	1.消化管の形態・機能について理解する。 2.ストーマを造設する疾患とその治療について理解する。 3.排便障害の病態と治療について理解する。	1.消化管の形態・機能 (消化・排便のメカニズムを含む) 2.ストーマを造設する疾患と治療 1) 悪性腫瘍 2) 炎症性腸疾患 3) 先天性異常(二分脊椎を含む) 4) 脊髄損傷等 3.ストーマ造設に伴う合併症 (性機能障害を含む) 4.排便障害の病態と治療 (検査を含む) 1) 貯留能障害: 薬物・手術療法 2) 結腸性(非直腸性)障害: 薬物・手術療法	30 (2)	赤木 由人 荒木 靖三 石橋 生哉 平井 郁一郎 廣瀬龍一 佛坂 正幸 角井めぐみ 浦邊 尋美
	6.排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価	1.泌尿器の形態・機能について理解する。 2.尿路変向術を必要とする疾患とその治療について理解する。 3.排尿障害の病態と治療について理解する。	1.泌尿器の形態・機能 1) 上部・下部尿路の解剖 2) 排尿の生理(排尿のメカニズムを含む) 2.尿路変向術(膀胱ろう・腎ろうを含む)を必要とする疾患と治療 1) 悪性腫瘍 2) 結石 3) 先天性異常(二分脊椎を含む)等 4) 脊髄損傷等 3.尿路変向術に伴う合併症(性機能障害を含む) 4.排尿障害の病態と治療(検査を含む) 1) 蓄尿機能障害: 薬物・手術療法・保存療法 2) 排出障害: 薬物・手術療法・保存療法	30 (2)	入江慎一郎 石井 龍 武井実根雄 松岡 弘文 一倉 祥子 相島真奈美 角井めぐみ 浦邊 尋美

項目	教科目	教科のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
専門基礎科目	7.ストーマケア	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ストーマ用品について理解する。</li> <li>2.周手術期のストーマ管理について理解する。</li> <li>3.ストーマの長期管理について理解する。</li> <li>4.成長に応じたストーマ管理について理解する。</li> <li>5.ストーマ周囲のスキントラブルを理解し、対処について理解する。</li> <li>6.ストーマの晩期合併症を理解し、アセスメントできる。</li> <li>7.ストーマ保有者の身体的・心理的・社会的問題について理解する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ストーマ用品の種類と特徴</li> <li>2.周手術期のストーマ管理</li> <li>3.ストーマの長期管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ストーマ外来</li> <li>2)排泄管理法</li> <li>3)患者会</li> <li>4)社会保障</li> </ol> </li> <li>4.小児期から青年期におけるストーマ管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ストーマに関する身体的問題のアセスメント</li> <li>2)心理・社会的状態のアセスメント</li> </ol> </li> <li>5.成人期から老年期におけるストーマ管理(認知症・独居等を含む) <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ストーマに関する身体的問題のアセスメント</li> <li>2)心理・社会的状態のアセスメント</li> </ol> </li> <li>6.管理困難なストーマケア <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ストーマ周囲の皮膚障害のアセスメントとケア(ABCD-stoma®を含む)</li> <li>2)その他のストーマ合併症</li> </ol> </li> </ol>	30 (2)	辰島 美和 直海 倫子 岡本加代子 松尾 規佐 石井美紀子 角井めぐみ
専門科目	8.排泄障害のケア	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 排便障害・排尿障害のアセスメントができる。</li> <li>2. 排泄ケア用品の種類や特徴について理解する。</li> <li>3. 排泄障害の要因や程度にあったケアについて理解する。</li> <li>4. 排泄障害時のスキンケアについて理解する。</li> <li>5. 排泄障害がある患者の身体的・心理的・社会的問題について理解する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.排便障害のアセスメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1)排便状態のアセスメント</li> <li>2)排便障害に関する身体的問題のアセスメント</li> <li>3)心理・社会的状態のアセスメント</li> </ol> </li> <li>2.排泄ケア用品(排便)の種類と特徴</li> <li>3.排便障害のケア：行動療法・強制排便法</li> <li>4.排便コントロール：食事療法・薬物療法</li> <li>5.下部尿路機能障害のアセスメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1)下部尿路症状のアセスメント</li> <li>2)下部尿路症状に関する身体的問題のアセスメント</li> <li>3)心理・社会的状態のアセスメント</li> </ol> </li> <li>6.排泄ケア用品(排尿)の種類と特徴</li> <li>7.下部尿路機能障害のケア：行動療法・骨盤底筋訓練・バイオフィードバック療法等</li> <li>8.排泄障害時のスキンケア</li> <li>9.成長・発達に応じた排泄障害の管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)小児期から青年期</li> <li>2)成人期から老年期</li> </ol> </li> </ol>	30 (2)	積 美保子 高崎 良子 松尾 規佐 石井美紀子 溝上 祐子
	[創傷管理] 9.創傷の病態と治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.創傷の種類と病態について理解する。</li> <li>2.創傷治癒過程とメカニズムについて理解する。</li> <li>3.創傷治癒を遅延させる局所的要因・全身的要因について理解する。</li> <li>4.創床環境調整(Wound bed preparation)理論について理解する。</li> <li>5.創傷管理における疼痛緩和について理解する。</li> <li>6.慢性創傷の治療について理解する。</li> <li>7.褥瘡の病態と治療について理解する。</li> <li>8.医療関連機器圧迫創傷の病態と治療について理解する。</li> <li>9.下肢創傷の病態と治療について理解する。</li> <li>10.ろう孔の病態と治療について理解する。</li> <li>11.創部哆開創(SSSIを含む)の病態と治療について理解する。</li> <li>12.スキン-テア(皮膚裂傷)の病態と治療について理解する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.創傷の種類と病態 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)急性創傷</li> <li>2)慢性創傷</li> </ol> </li> <li>2.創傷の治癒過程とメカニズム</li> <li>3.創傷治癒を遅延させる因子</li> <li>4.創床環境調整(Wound bed preparation) <ol style="list-style-type: none"> <li>1)デブリードマン</li> <li>2)滲出液管理</li> <li>3)感染管理(バイオフィーム及びクリティカルコロナイゼーションを含む)</li> </ol> </li> <li>5.創傷管理における疼痛緩和</li> <li>6.慢性創傷の治療 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)陰圧閉鎖療法</li> <li>2)薬物療法</li> <li>3)手術療法</li> </ol> </li> <li>7.褥瘡の病態と治療 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)褥瘡の発生機序</li> <li>2)褥瘡の分類、アセスメント・評価</li> </ol> </li> </ol>	30 (2)	元村 尚嗣 高木 誠司 伊東 孝通 亀井 英樹 深川 修司 竹内 一馬



項目	教科目	教科のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
専門科目			3) 治癒のアセスメントとモニタリング(創傷治癒過程、TIME理論等) 4) 褥瘡及び創傷治癒と栄養管理 5) DESIGN-R <sup>®</sup> に基づいた治療指針 6) 褥瘡及び創傷の診療のアルゴリズム 7) 感染のアセスメント 8) 褥瘡の治癒のステージ別局所療法 8.医療関連機器圧迫創傷の病態と治療 9.下肢創傷の病態別治療 1) 糖尿病性足病変 2) 末梢動脈疾患(PAD) 3) 静脈性潰瘍 4) 血行再建 10.ろう孔の病態と治療 1) 胃ろう・腸ろう 2) 消化管外ろう 11.創部哆開創(SSSIを含む)の病態と治療 12.スキン-テア(皮膚裂傷)の病態と治療		
	10.創傷のアセスメントと管理I	1.創傷を有する患者の身体的・心理的・社会的問題について理解する。 2.創傷被覆材の種類と特徴について理解する。 3.創傷の状態に合わせた、創傷被覆材や薬剤の選択方法について理解する。 4.褥瘡の発生機序と予防方法について理解する。 5.褥瘡のアセスメントができる。 6.褥瘡の治癒環境を整えるケアについて理解する。	1.創傷を有する患者のアセスメント 1) 創傷を有する患者の身体的問題のアセスメント 2) 心理・社会的状態のアセスメント 2.創傷のケア(急性・慢性) 1) 創傷被覆材の種類と特徴 2) 創傷被覆材の選択の実際 3) 創傷に合わせた薬剤の選択 3.褥瘡管理 1) 発生機序 2) リスクアセスメント 3) スキンケア 4) 体圧の調整とポジショニング(車いすを含む) 5) 褥瘡の局所アセスメント(DSIGN-R <sup>®</sup> を含む)・超音波検査・皮膚温 6) 褥瘡の局所ケア	30 (2)	酒井 宏子 黒川 正人 鷗木亜矢子 田中マキ子 森川 綾 下畑 由美
	11.創傷のアセスメントと管理II	1.医療関連機器圧迫創傷のケアについて理解する。 2.下肢創傷のアセスメントができる。 3.下肢創傷のケアについて理解する。 4.ろう孔ケアの目的と方法について理解する。 5.創部哆開創(SSSIを含む)のケアについて理解する。 6.スキン-テア(皮膚裂傷)のケアについて理解する。	1.医療関連機器圧迫創傷管理 1) 発生機序 2) アセスメントとケア 2.下肢創傷管理 1) 下肢創傷のアセスメント(血流障害・神経障害の評価)、予防ケア 2) 下肢創傷のケア(フットケア、日常生活指導、フットウェア、局所ケア等) 3.ろう孔管理(ドレーンを含む) 1) ろう孔の局所アセスメント 2) ろう孔のケア(パウチング法、吸引法等) 3) 特殊なろう孔ケア(胃ろう、気管切開孔等) 4.創部哆開創(SSSIを含む)の管理 1) 創部哆開創(SSSIを含む)のアセスメントとケア 5.スキン-テア(皮膚裂傷)の管理 1) 発生機序 2) アセスメント(STARスキン-テア分類を含む)とケア	30 (2)	酒井 宏子 森山やよい 田淵 宏 間宮 直子 直海 倫子 角井めぐみ 浦邊 尋美

項目	教科目	教科のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
学内演習	1.学内演習	1.排泄管理技術を身につける。 (ストーマケア・失禁ケア) 2.創傷管理技術を身につける。 (褥瘡ケア・下肢創傷ケア) 3.患者のQOLの向上を目指した看護サービスが提供できるための集団教育の方法を理解し、効果的なプレゼンテーションができる。 4.実習で関わった事例を皮膚・排泄ケアの視点をもって報告することができる。 5.皮膚・排泄ケア領域で最近の論点となるような問題点や最近のケアについて専門的な立場で将来を見通した考察ができる。	1.排泄管理技術演習排泄管理のスキルを身につけ、個々のケースに応じた実践能力を養う。 2.創傷管理技術演習創傷管理のスキルを身につけ、個々のケースに応じた実践能力を養う。 3.プレゼンテーション講義形式の教育活動の準備・実施・評価を通じて、患者のQOLの向上をめざした質の高い皮膚・排泄ケア(創傷・オストミー・失禁)サービスが提供できるための集団教育方法を修得する。 4.ケースレポート 1)皮膚・排泄ケア(創傷・オストミー・失禁)の対象となる患者に全人的なケアを行うために的確なアセスメントを実施する。 2)皮膚・排泄ケア認定看護師としての役割と機能を十分に発揮できるケア計画を立て実践する。 3)科学的論文等を活用し、看護実践を論理的に評価・フィードバックし、看護ケアの専門性について考察を深め、報告する。	60 (2.5)	飯屋崎通子 近藤三亀代 酒井 宏子 下畑 由美 柴田 真弓 澁田 美江 園田みずき 辰島 美和 富田美和子 丸尾 香子 山田 陽子 藪本 育子 角井めぐみ 浦邊 尋美
実習	2.臨地実習	1.褥瘡や下肢創傷などを有している患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと創傷管理ができる。 2.ストーマ保有者や失禁を伴う患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと排泄管理ができる。 3.創傷管理や排泄管理を要する患者にフィジカルアセスメントを行い、かつ心理的、社会的及びスピリチュアルな問題を理解し、問題解決のための援助ができる。 4.創傷管理や排泄管理を要する患者とその家族が病状に応じた自己管理ができるよう、生活に則した効果的な指導ができる。 5.創傷管理や排泄管理を要する患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を實踐できる。 6.より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。 7.皮膚・排泄ケアの実践を通して、役割モデルを示し、看護職者への指導・相談を行うことができる。	皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の対象を的確に判断し、QOLの向上をめざした質の高い看護サービスを提供するため「ケアの実践能力」・「患者及びスタッフへの指導能力」・「スタッフからの相談に応じる能力」を養う。 1.創傷ケア 1)創傷を有する患者のケア見学を含めて20例以上 2)創傷を有する患者のケアの展開1例以上 2.ストーマケア 1)ストーマを有する患者のケア見学を含めて15例以上 2)ストーマを有する患者のケアの展開1例以上 3.失禁ケア 1)排泄障害を有する患者のケア見学を含めて5例以上 2)排泄障害を有する患者のケアの展開1例以上	180 (4)	臨地実習 指導者 教員
総 時 間 数				660	

共通科目	135 時間
専門科目	285 時間
演習/実習	60/180 時間
総時間数	660 時間

## ④臨地実習施設

福岡県内9施設	・小倉記念病院 ・福岡大学病院 ・筑後市立病院	・北九州市立医療センター ・福岡大学筑紫病院	・産業医科大学病院 ・九州医療センター	・飯塚病院 ・浜の町病院
福岡県外2施設	・佐賀大学医学部附属病院 ・熊本医療センター			

## ⑤プログラム

日程	内容	日程	内容
2021.5/11	入講式、オリエンテーション	9/13～10/26	臨地実習
5/13～	福岡県看護協会にて授業開始	11/12	ケースレポート発表、実習指導者会
6/7～	定期試験開始	11/19	修了試験
7/8～	演習開始	11/22	修了試験合格発表
8/10	実習指導者会	12/9	閉講式
8/3	プレゼンテーション発表	12/16	2022年度 入学試験
8/12～15	夏季休暇	12/21	2022年度 入学試験合格発表

## ⑥受講生の背景

## 1. 受験状況

(人)

受験者数	合格者	入講者数	再履修生	修了認定者数
51	27	24	0	23

## 2. 年齢構成（歳）

平均年齢
37

## 3. 都道府県

N=24 (人)

福岡	長崎	大分	沖縄	岡山	広島
8	2	2	1	1	1
大阪	兵庫	和歌山	千葉	富山	北海道
1	1	2	2	1	2

## ⑦まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大状況の動向を注視しながら、講師のご協力のもと、対面授業やZOOMによる遠隔授業等を柔軟に取り入れ、安全に履修できる学習環境を整えた。臨地実習は緊急事態発令中であったが、県内9施設、県外2施設のご協力のもと実施することができた。

開講後すぐにポートフォリオを用いた目標管理を実施した。目標管理は実習中も継続して行い、カリキュラムの教育目標と実習目標に対し、自己の課題を明確にしながら、達成できるように随時、実習指導者と教員が連携しながら支援した。対面が制限される中、定期的に各自の目標達成度を発表することで目標管理や学びの共有ができた。

受講期間修了後は、10月の日本看護協会認定審査の全員合格をめざし、教育課程修了者に対しフォローアップ研修を4回実施した。



## Ⅲ. 福岡県看護学会

### 1. 福岡県看護学会

#### 1) 第21回福岡県看護学会（学会委員会）



## 1) 第21回福岡県看護学会

- (1) 目的：本学会は、実践に根差した看護研究の支援を通して、看護職の学術研究の振興に努め、県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。また、会員が地元福岡で気軽に参加でき、発表者と参加者がお互いに研鑽し合うことができる「日々の看護を学び合う」学会を目指している。
- (2) テーマ：Power of Smile Nursing
- (3) 運営方法：完全オンデマンド学会
- (4) 配信期間：令和3年12月11日(土)～令和4年2月11日(金)
- (5) 特別講演：「未来へ向けて受け継ぐもの 築くもの」  
 講師：味酒 安則(太宰府天満宮 顧問/文化研究所主管学芸員)  
 座長：大和 日美子(公益社団法人福岡県看護協会 会長)
- (6) プログラム ※全て録画発表  
 ①発表演題 演題数27題(口演発表27題)  
 ②シンポジウム、特別セッションⅠ、特別セッションⅡ

### (7) 参加者情報

①参加人数 610名(有料参加者：発表者27名、一般参加者583名) ※オンデマンド開催の為、入金者を参加者で算出

②年齢(N=610) (%)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	非会員	学生
17.4	16.7	28.7	25.7	4.1	0.2	0.8	6.4

③施設種類別一般参加数の割合(N=610) (%)

病院	看護系教育研究機関	訪問看護ステーション	診療所	個人会員	その他	未登録施設
91	7	0.3	0.2	0.7	0.7	0.1

④病床別一般参加数の割合(N=610) (%)

19～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	病床なし
1.1	29	10.3	7.8	7.6	35.2	9

### (8) アンケート結果(N=35)

①満足度 (%)

満足した	やや満足した	あまり満足できなかった	満足できなかった
45.7	54.3	0.0	0.0

### ②自由筆記(一部抜粋)

- ・今回のオンデマンド配信は良かった、何回も視聴可能
- ・完全オンデマンド学会受講は、自分の時間を調整して受講することが出来るし、参考になる部分があれば繰り返し聞けるので分かり易かった。
- ・オンデマンドであったため、すべてのセッション、口演発表を視聴でき、戻ってもう一度視聴することもできたため、参会しやすく、また有意義に視聴できた。シンポジウム、特別セッションⅠは特に昨年から始まったコロナ禍の中、自身や自部署に置き換え考えることができ、今後活かしていきたい学びであった。
- ・コロナ禍での開催、ありがとうございました。オンデマンドなので、現地開催のみの時は時間が重なって見ることができなかった発表も、全部見ることができたので良かったです。ですが、現地開催のメリット、その場で意見交換が出来たり、人との繋がりができたりもあります。





## IV. 教育研修事業 福岡県主催委託・補助事業 (教育研修部研修)

1. 福岡県看護実習指導者講習会 (県委託)
2. 福岡県特定分野看護実習指導者講習会 (県委託)
3. 新人看護職員研修事業 (新人看護職員研修運営委員会)
  - 1) 福岡県新人看護職員研修責任者研修 (県委託)
  - 2) 新人看護職員教育担当者研修 (県補助)
  - 3) 福岡県新人看護職員実地指導者研修 (県委託)
  - 4) 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業 (県補助)
  - 5) 新人看護職員多施設集合研修 (県補助) ※ I-1-1) へ掲載
4. 福岡県看護職員認知症対応力向上研修 (県委託)
5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修 (県委託)



## 1. 福岡県看護実習指導者講習会（県委託）

### 1) 実施要綱

- (1) 目的：保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所又は准看護師養成所の実習施設で実習指導の任にある者もしくは将来これらの施設の実習指導者となる予定にある者、又は上記養成所において実習指導の任にある者に対して、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、知識・技術を修得させることを目的とする。
- (2) 対象者：福岡県内の看護職員で、保健師、助産師、看護師又は准看護師を養成する学校の実習施設で実習指導の任にある者又は将来これらの施設の実習指導者となる予定の者。
- (3) 受講者負担金：eラーニング受講料及びテキスト代として50,000円
- (4) 受講決定：福岡県が応募・選考・決定をする。
- (5) 修了：すべての科目の単位を修得した者に対し県が修了証を発行する。
- (6) 講習期間：32日間（189時間 eラーニング75時間を含む）令和3年7月～12月

### 2) 科目一覧

区分	内容	科目	講習内容	単 位	時 間 数	講師
基礎分野	教育の基盤	教育原理	教育の本質の基礎知識、概念及び必要な理論を学ぶ ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	1	15	eラーニング
		教育方法	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授—学習過程の理解 等	1	15	eラーニング
		教育心理	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等	1	15	eラーニング
		教育評価	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等	1	15	eラーニング
専門分野	看護教育	看護論	人間の健康・看護の考え方を多角的に学び看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対処方法 等	1	15	eラーニング
		看護教育課程論	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる ・教育課程の基礎知識 等	1	15	西村 由紀子（元純真学園大学）
	実習指導の基盤	実習指導方法論 (評価を含む)	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ ・各領域別実習指導の概要 ・実習指導の方法 ・実習評価の意義と方法 等	2	30	基礎看護学 副島 理沙（肥前精神医療センター） 成人看護学 岩井 由紀（原看護専門学校） 老年看護学 穴井 めぐみ（福岡女学院看護大学） 小児看護学 草野 ひとみ（元福岡大学病院）
		実習指導方法演習	実習指導の展開の実際を学ぶ ・実習指導案の作成及び評価（課程別、学年別、専門領域別等） ・実習の評価 等	2	60	母性看護学 永田 順子（北九州市立看護専門学校） 精神看護学 青本 さとみ （九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野） 在宅看護論 小林 裕美 （元日本赤十字九州国際看護大学） 看護の統合と実践 福井 道子 （元製鉄記念八幡看護専門学校）
その他		開講式・閉講式 ガイダンス まとめ		9		
合計				10	189	

### 3) 受講者について

#### (1) 受講状況 (人)

定員	応募者数	受講者数	修了者数
82	115	82	82

#### (2) 年齢 (人)

20代	30代	40代
6	40	36

### 4) アンケート結果

N=開講時82人・閉講時78人

		4:できる, 3:ややできる, 2:あまりできない, 1:できない	開講時	閉講時
基礎分野	教育原理	教育の本質・目的を述べることができる	1.6	3.1
		教育活動の特性を述べることができる	1.5	3.1
	教育方法	教育の基本的な方法(授業形態・授業方法)及び教材の活用を述べる ことができる	1.5	3.1
		教授—学習過程の理解ができる	1.5	3.1
		看護学教育における基本的な方法や技術について述べる ことができる	1.6	3.2
	教育心理	成長発達に伴う学習者の心理を述べる ことができる	1.5	3.1
学習過程における心理について述べる ことができる		1.5	3.1	
教育評価	教育評価の目的・方法を述べる ことができる	1.6	3.1	
	講義・演習・実習評価の方法を述べる ことができる	1.5	3.1	
専門分野	看護論	看護の機能と役割を述べる ことができる	1.7	3.2
		看護場面と看護観の再構成が できる	1.6	3.2
		健康の概念と健康支援について 述べる ことができる	1.7	3.1
		倫理的課題とその対応方法 について述べる ことができる	1.6	3.1
	看護教育論	看護師等教育課程の概要を 述べる ことができる	1.5	3.1
		実習指導計画の意義・目的を 述べる ことができる	1.5	3.2
		教育課程の基本的要素が理解 できる	1.6	3.1
	実習指導方法論	実習指導の方法について述べる ことができる	1.5	3.2
		実習評価の意義と方法について 述べる ことができる	1.5	3.1
	実習指導方法演習	実習指導案の作成及び評価 について、 課程別、 学年別、 専門領域別 に述べる ことができる	1.4	3.1
本講習会の内容は理解できましたか(理解度)				3.6
本講習会は満足できましたか(満足度)				3.7
本講習会で学んだことは実習指導の実践に役立ちますか(役立ち度)				3.8

### 5) まとめ

#### 1) 科目と日程

令和3年度から、単位制となり10単位180時間の講習会となった。単位修得認定に関する規定として、講義・演習出席時間数、科目評価基準を設けた。また、コロナ禍での開催であり、集合する時間を削減するために基礎分野4科目と看護論はeラーニングを導入した。

#### 2) 実習指導方法演習60時間の構成

実習指導方法演習は、前半4日間で自施設での実習受入れ領域の指導案を講師の指導を受けて各自作成した。

後半の6日間は、受講者が経験した「看護場面の教材化」をグループ内でリフレクションをして最終日に2会場に分かれて発表をし全体の学びとした。発表会では活発な意見交換ができ、非常に満足度の高い研修となった。

#### 3) 科目評価の導入

単位修得のために講師による科目評価を行った。演習後評価表に沿って講師から受講者へ直接評価返しの時間を設け、講師からのフィードバックは貴重な時間となった。講師からもこの時間がとても良かったという反応を得た。

#### 4) 効果的な研修となるために行ったこと

開講時に、受講者がどんな実習指導者になりたいか、そのための自己の課題は何かグループワークで話し合う時間を作った。閉講時には研修を通して学んだこと、なりたい実習指導者について全体共有することで、今後の実習指導者としての活動の動機づけとした。

#### 5) 受講者による全体的な評価

受講者からの評価は、開講時と閉講時を比較するとすべての項目で「できる」「ややできる」の割合が大きく上昇し、理解度、満足度、役立ち度ともにほぼ100%であった。コロナ禍で前半はグループワークができないことに対し残念という意見が出ていたが、後半の演習で充分グループワークの目標が達成できた。

#### 6) 感染対策

コロナ禍での開催であり、受講者には開講時の健康チェック、ワクチン接種状況の確認、毎日の体温・症状確認を行った。研修室にCO<sup>2</sup>センサーを設置し1000ppmを換気を目安とし、常時窓を開け、特に演習中は1時間ごとに大きく窓を開放し換気を行い、CO<sup>2</sup>濃度は400~800ppmで経過した。また、演習中は受講者講師共にマスクの上にフェイスシールドを装着した。会場は、82名の受講者に対応するため講義は大ホールを使い、演習は2会場に分かれて開催した。大ホールでは受講者間のコミュニケーションが取りづらいという課題はあったが、感染防止上可能な対策を講じて開催することができた。

## 2. 福岡県特定分野看護実習指導者講習会（県委託）

### 1) 実施要綱

- (1) 目的：保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所もしくは准看護師養成所における特定分野の実習を行う病院以外の実習指導者の任にある者もしくは将来これらの施設で実習指導者となる予定にある者、または上記養成所において特定分野の実習指導の任にある者に対して、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的指導ができるよう、必要な知識・技術を修得させることを目的とする。
- (2) 対象者：福岡県内の看護職員で、保健師、助産師、看護師又は准看護師を養成する学校の実習施設で実習指導に当たる者又は将来これらの施設の実習指導者となる予定の者
- (3) 受講者負担金：テキスト代 7,000 円
- (4) 受講決定：福岡県が応募・選考・決定をする。
- (5) 修了：修了認定を受けた者に県が修了証を発行する。
- (6) 講習期間：7日間（39時間）令和3年7月～8月
- (7) プログラム

区分	科目	目標及び内容	時間数	講師
教育の基盤	教育原理	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ	3	生田 淳一（福岡教育大学）
	教育心理	人間の発達と学習過程における青年時の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する		
	教育方法	教育の基本的な方法や技術・評価方法について理解する	3	岸田 佐智子（国立病院機構九州グループ）
実習指導の基盤	実習指導の実際Ⅰ（講義）	看護基礎教育の概要と実習に求められている課題を理解する	3	荒川 直子（国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校）
		実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する	6	
	実習指導の実際Ⅱ（演習）	実習指導の展開について理解を深め、かつ臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ	24	荒川 直子（国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校） 岩崎 優子（福岡女学院看護大学） 阪元 利恵（福岡看護専門学校）
合計			39	

### 3) 受講者について

#### (1) 受講状況

定員	応募者数	受講者数	修了者数
40	19	18	17

#### (2) 年齢

20代	30代	40代	50代
1	5	10	2

#### (3) 受講者所属施設

保健所	1
訪問看護ステーション	8
介護老人保健施設	4
クリニック	3
病院	2

### 4) アンケート結果

N = 開講時18人・閉講時17人  
4：できる、3：ややできる、2：あまりできない、1：できない

	開講時	閉講時
教育の意義や基礎的な概念について学ぶ	2.3	3.4
人間の発達と学習過程における青年時の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解できる	2.3	3.4
教育の基本的な方法や技術、評価方法について理解する	2.1	3.4
看護基礎教育の概要と実習に求められる課題を理解する	2.0	3.4
実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する	2.0	3.6
実習指導の展開について理解を深める	1.9	3.2
臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ	1.8	3.4
講習会の理解度		3.8
講習会の満足度		3.6
講習会の役立ち度		3.8

### 5) まとめ

今年度からカリキュラムと総時間数に変更となり、開講式・閉講式等の式典は行わず、初日にオリエンテーションと受講者の自己紹介をした。受講者間の交流を図る時間や研修の動機づけは十分ではなかった。次年度はオリエンテーションとともに研修に期待する事やなりたい実習指導者像をグループワーク・発表で共有する時間を作る工夫を考えたい。

4日間の演習では、グループ発表後、そのグループへの質問意見をまとめるためのグループワークの時間を設けておりグループ内の意見交換が活発に行われた。1G4～5名の少人数で構成しており、全員が研修に積極的に参加して成果を作り出すプロセスを実践できていた。18名の受講者に3名の講師がいることで受講者は非常に満足度・達成度の高い研修となった。また演習日程に関しては講師から時間にゆとりがあり演習がやりやすかったという評価を得た。

コロナ禍での開催であり、感染対策として、受講者には開講時の健康チェック、ワクチン接種状況の確認、毎日の体温・症状確認を行った。研修室にはCO<sub>2</sub>センサーを設置し1000ppmを換気の目安としたが、常時窓を開け、特に演習中は1時間ごとに大きく窓を開放し換気を行い、CO<sub>2</sub>濃度は400～600ppmで経過した。また、演習中は受講者講師共にマスクの上にフェイスシールドを装着し感染防止に努めた。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 1) 福岡県新人看護職員研修責任者研修【オンライン研修】（県委託）

- (1) 目的：新人看護職員研修ガイドラインに示されている新人看護職員研修の企画・運営・評価に必要な研修責任者としての能力を習得し、適切な研修体制を構築できる。
- (2) 目標：①新人看護職員研修ガイドラインの概要と研修責任者の役割を理解できる。  
 ②教育の基本的な考え方、新人看護職員臨床研修カリキュラム作成と教育評価、成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。  
 ③教育的視点から新人看護職員に対する研修計画や研修プログラムの策定、組織体制づくりをする必要性が理解でき、施設における新人看護職員臨床研修の現状と課題を集約できる。  
 ④教育担当者の支援と実地指導者の育成・支援について学び、実践の場で活かすことができる。  
 ⑤自施設における新人看護職員臨床研修体制の現状を評価し、課題に対する取り組みについて実践報告ができる。
- (3) 対象者：新人看護職員研修ガイドラインで規定された研修責任者または看護師資格を有する管理者（看護師長以上、看護部長含む）
- (4) 受講料：無料（資料代：5,000円）
- (5) 受講修了要件：全日程を受講した者（会員は日本看護協会キャリアナースの受講履歴管理に登録）
- (6) プログラム

日程		項目	主な内容	講師
1日目	9/14 (火)	新人看護職員研修ガイドラインの概要・研修責任者の役割	新人看護職員研修の概要/医療・看護を取り巻く現状と施策の動向/看護基礎教育の現状および臨床実践能力の習得状況/新人看護職員の特徴/継続教育とキャリア形成の考え方/新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方/研修責任者が果たすべき役割/自施設の新人看護職員臨床研修の企画と運営の実	済生会福岡総合病院 大嶋 由紀
2日目	9/16 (木)	教育に関する知識	教育の基本的な考え方/新人看護職員臨床研修カリキュラム作成と教育評価/成人学習者の特徴と教育方法/リフレクシオンの概念、意義、方法	日本赤十字九州国際看護大学 阿部 オリエ
3日目	9/17 (金)	新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポート	看護職員のストレスとメンタルヘルス/新人看護職員・実地指導者・教育担当者への精神的支援の実際/ラインケア	小倉記念病院 後藤 明子
4日目	9/21 (火)	新人看護職員臨床研修の企画と評価	研修での学びを踏まえて、自施設の新人看護職員臨床研修の取り組みを評価/評価を踏まえて、改善のためのアクションプランを立案	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代
5日目	R.4年 2/2 (水)	自施設の新人看護職員研修体制の課題に対する取り組みを実践報告	【フォローアップ研修】 自施設での取り組みの実践報告/グループ・全体での共有とリフレクシオン/今後の課題の明確化	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代

#### (7) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
30	74	50	50	50

## (8) アンケート結果

(%)

	項目	理解 できた	まあまあ 理解できた	あまり理解 できなかった	理解でき なかった
理解度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と研修責任者の役割を理解できましたか (N=48)	66.7	33.3	0.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか (N=48)	64.6	35.4	0.0	0.0
	新人看護職員・実地指導者・教育担当者への精神的支援について理解できましたか (N=47)	55.3	44.7	0.0	0.0
	新人看護職員に対する研修計画やプログラムの策定、組織体制づくりの必要性について理解できましたか (N=47)	83.0	17.0	0.0	0.0
	自施設における新人看護職員研修の現状の評価、課題に対する取り組みについて理解できましたか (N=38)	81.6	18.4	0.0	0.0

(%)

	項目	とても 満足できた	満足 できた	あまり満足 できなかった	満足でき なかった
満足度	【1日目研修】満足度 (N=48)	64.6	35.4	0.0	0.0
	【2日目研修】満足度 (N=48)	60.4	37.5	2.1	0.0
	【3日目研修】満足度 (N=47)	48.9	51.1	0.0	0.0
	【4日目研修】満足度 (N=47)	70.2	29.8	0.0	0.0
	【5日目研修】満足度 (N=38)	81.6	18.4	0.0	0.0

(%)

	項目	活用 できそう	まあまあ活用 できそう	あまり活用 できそうにない	活用でき そうにない
役立ち度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と研修責任者の役割について活用できそうですか (N=48)	77.1	22.9	0.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について活用できそうですか (N=48)	75.0	25.0	0.0	0.0
	新人看護職員・実地指導者・教育担当者への精神的支援について活用できそうですか (N=47)	63.8	36.2	0.0	0.0
	新人看護職員に対する研修計画やプログラムの策定、組織体制づくりの必要性について活用できそうですか (N=47)	89.4	10.6	0.0	0.0
	自施設における新人看護職員研修の現状の評価、課題に対する取り組みについて活用できそうですか (N=38)	89.5	10.5	0.0	0.0

## (9) まとめ

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全日程をオンライン研修へ変更して実施した。オンライン上でのグループワークであったが、受講者からは「他施設との情報共有は、とても参考になった。」「グループワークはとても有意義な時間となった。」等の感想が多かった。また、最終日のフォローアップ研修でも、問題なく実践報告発表や意見交換ができた。

アンケート結果は、理解度・満足度・役立ち度いずれも高い評価であり、オンライン研修でも学習効果は得られ、研修目標は達成できたと考える。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 2) 新人看護職員教育担当者研修【オンライン研修】（県補助）

- (1) 目的：新人看護職員研修ガイドラインに示されている教育担当者としての能力を習得し、自部署における効果的な研修実施体制を確保することができる。
- (2) 目標：①新人看護職員研修ガイドラインの概要と教育担当者の役割を理解できる。  
 ②教育の基本的な考え方、教育計画立案と教育評価、成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。  
 ③教育的視点から、自部署における研修計画立案と実施、評価の実際、教育・精神的支援の実際、組織体制づくり等に関する課題を見いだすことができる。  
 ④新人看護職員と新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポートの重要性を理解し、実践に活かすことができる。  
 ⑤自部署における新人看護職員臨床研修の現状を評価し、課題に対する取り組みについて実践報告ができる。
- (3) 対象者：①新人看護職員研修ガイドラインで規定された教育担当者としての役割を担う看護師資格を有する者  
 ②その任にあたる予定の看護師資格を有する者
- (4) 受講料：会員 10,000 円（税抜） 非会員 20,000 円（税抜）
- (5) 受講修了要件：全日程を受講した者（会員は日本看護協会キャリアナースの受講履歴管理に登録）
- (6) プログラム

	日程・回数		項目	主な内容	講師
	1回目	2回目			
1日目	11/2 (火)	11/12 (金)	新人看護職員研修ガイドラインの概要 / 教育担当者の役割	新人看護職員研修の概要 / 医療・看護を取り巻く現状と施策の動向 / 看護基礎教育の現状および臨床実践能力の習得状況 / 新人看護職員の特徴 / 継続教育とキャリア形成の考え方 / 新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方 / 教育担当者が果たすべき役割	JCHO 九州病院 二見 美喜子
2日目	11/8 (月)	11/16 (火)	教育に関する知識	教育の基本的な考え方 / 教育計画立案と教育評価 / 成人学習者の特徴と教育方法 / リフレクシオンの概念・意義・方法	九州大学大学院医学研究 院保健学部門看護学専攻 能登 裕子
3日目	11/9 (火)	11/17 (水)	新人看護職員と新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポート	実地指導者・新人看護職員が経験しやすいストレスとメンタルヘルス / 新人看護職員と実地指導者への精神的支援の実際	久留米大学病院 山下 真範
4日目	11/11 (木)	11/22 (月)	教育計画立案・運営に必要な基本的知識	看護部理念に基づく新人看護職員臨床研修の到達目標の設定 / 部署における新人看護職員臨床研修の教育計画の立案・実施 / 評価方法と評価結果のフィードバック / 新人看護職員臨床研修企画と教育プログラムの実際	NPO 法人 日本看護キャリア 開発センター 江藤 節代
5日目	R.4年 2/28 (月)	R.4年 3/2 (水)	【フォローアップ研修】 自部署の新人看護職員臨床研修の課題に対する取り組みを実践報告	自部署での取り組みの実践報告 / グループ・全体での共有とリフレクシオン / 今後の課題の明確化	NPO 法人 日本看護キャリア 開発センター 江藤 節代

#### (7) 受講状況

(人)

回数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
1回目	60	166	60	60	60
2回目	60		60	58	56



(8) アンケート結果

(%)

	項目		理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
理解度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と教育担当者の役割を理解できましたか	1回目 (N=60)	48.3	50.0	1.7	0.0
		2回目 (N=57)	49.1	47.4	3.5	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか	1回目 (N=60)	38.3	60.0	1.7	0.0
		2回目 (N=58)	39.6	55.2	5.2	0.0
	新人看護職員と実地指導者の精神的支援について理解できましたか	1回目 (N=59)	59.3	40.7	0.0	0.0
		2回目 (N=58)	65.5	32.8	0.0	1.7
	自部署における研修計画立案と実施、評価の実際、組織体制づくりの必要性について理解できましたか	1回目 (N=59)	69.5	30.5	0.0	0.0
		2回目 (N=58)	62.1	37.9	0.0	0.0
	自部署の新人看護職員研修における課題解決について理解できましたか	1回目 (N=49)	81.6	18.4	0.0	0.0
		2回目 (N=49)	81.6	18.4	0.0	0.0

(%)

	項目		とても満足できた	満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった
満足度	【1日目研修】満足度	1回目 (N=60)	41.7	58.3	0.0	0.0
		2回目 (N=57)	45.6	52.6	1.8	0.0
	【2日目研修】満足度	1回目 (N=60)	28.3	66.7	5.0	0.0
		2回目 (N=58)	32.8	56.9	10.3	0.0
	【3日目研修】満足度	1回目 (N=59)	62.7	35.6	1.7	0.0
		2回目 (N=58)	67.2	32.8	0.0	0.0
	【4日目研修】満足度	1回目 (N=59)	64.4	35.6	0.0	0.0
		2回目 (N=58)	63.8	34.5	1.7	0.0
	【5日目研修】満足度	1回目 (N=49)	75.5	24.5	0.0	0.0
		2回目 (N=49)	71.4	28.6	0.0	0.0

(%)

	項目		活用できそう	まあまあ活用できそう	あまり活用できそうにない	活用できそうにない
役立ち度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と教育担当者の役割について活用できそうですか	1回目 (N=60)	53.3	41.7	5.0	0.0
		2回目 (N=57)	54.4	38.6	7.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について活用できそうですか	1回目 (N=60)	45.0	50.0	5.0	0.0
		2回目 (N=58)	50.0	50.0	0.0	0.0
	新人看護職員と実地指導者の精神的支援について活用できそうですか	1回目 (N=59)	64.4	32.2	3.4	0.0
		2回目 (N=58)	74.1	25.9	0.0	0.0
	自部署における研修計画立案と実施、評価の実際、組織体制づくりの必要性について活用できそうですか	1回目 (N=59)	74.6	20.3	5.1	0.0
		2回目 (N=58)	65.5	32.8	1.7	0.0
	自部署の新人看護職員研修における課題解決について活用できそうですか	1回目 (N=49)	83.7	16.3	0.0	0.0
		2回目 (N=49)	79.6	20.4	0.0	0.0

(9) まとめ

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全日程をオンライン研修で実施した。

研修初日のグループワークでは、オンライン上という不慣れな状況でのグループワークに戸惑われる受講者もおられたが、研修日を重ねるごとに活発な意見交換ができていた。また、最終日のフォローアップ研修でも、問題なく実践報告発表や意見交換ができた。受講者からは「他施設との情報共有で自部署の課題が明確になった。」「実践報告発表やディスカッションを通して学びを深めることができた。」等の感想が多かった。

アンケート結果は、理解度・満足度・役立ち度いずれも高い評価であり、オンライン研修でも学習効果は得られ、研修目標は達成できたと考える。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 3) 福岡県新人看護職員実地指導者研修【オンライン研修】（県委託）

- (1) 目的：新人看護職員研修ガイドラインに示されている実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員への教育、精神的支援を実践できる能力を習得する。
- (2) 目標：①新人看護職員研修ガイドラインの概要と実地指導者の役割を理解できる。  
②教育の基本的な考え方、教育計画立案・実施・評価、成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。  
③自部署における新人看護職員臨床研修計画に沿った個別プログラム立案、実施及び評価の必要性を理解するとともに、看護技術の指導、評価方法について理解できる。  
④新人看護職員のメンタルサポートに活かすコミュニケーションについて学び、実践に活用することができる。  
⑤新人看護職員への教育的関わり及びメンタルサポートについて課題を見出し、自部署での取り組みを実践報告できる。
- (3) 対象者：①新人看護職員研修ガイドラインで規定された実地指導者としての役割を担う看護師資格を有する者  
②その任にあたる予定の看護師資格を有する者
- (4) 受講料：無料（資料代：5,000円）
- (5) 受講修了要件：全日程を受講した者（会員は日本看護協会キャリアナースの受講履歴管理に登録）
- (6) プログラム

	日程・回数			項目	主な内容	講師
	1回目	2回目	3回目			
1日目	9/28 (火)	10/6 (水)	10/19 (火)	新人看護職員研修ガイドラインの概要/実地指導者の役割	新人看護職員研修の概要/医療・看護を取り巻く現状と施策の動向/看護基礎教育の現状および臨床実践能力の習得状況/新人看護職員の特徴/継続教育とキャリア形成の考え方/新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方/実地指導者が果たすべき役割/自部署における実地指導者の活動の実際	済生会 福岡総合病院 川崎 智子
2日目	9/29 (水)	10/8 (金)	10/22 (金)	教育に関する基礎知識	教育の基本的な考え方/教育計画立案・実施・評価/成人学習者の特徴と教育方法/リフレクシオンの概念、意義、方法	福岡赤十字病院 山根 理恵子
3日目	9/30 (木)	10/12 (火)	10/25 (月)	新人看護職員のメンタルサポート	新人看護職員が経験しやすいストレスとメンタルヘルス/新人看護職員への精神的支援の実際	福岡大学病院 池田 静子
4日目	10/4 (月)	10/14 (木)	10/26 (火)	看護技術の指導方法	現場における実地指導者の役割と教育の実際/看護技術の指導方法/看護技術の評価方法	NPO 法人 日本看護キャリア 開発センター 江藤 節代
5日目	R.4年 2/4 (金)	R.4年 2/14 (月)	R.4年 2/24 (木)	【フォローアップ研修】 新人看護職員への教育的関わりやメンタルサポートの課題に対する取り組みを実践報告	自部署での取り組みの実践報告/グループ・全体での共有とリフレクション/今後の課題の明確化	NPO 法人 日本看護キャリア 開発センター 江藤 節代

#### (7) 受講状況

(人)

回数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
1回目	60	283	60	58	56
2回目	60		60	58	57
3回目	60		60	57	52

(8) アンケート結果

(%)

理解度	項目	回数	理解度			
			理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
理解度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と実地指導者の役割を理解できましたか	1回目 (N=58)	50.0	50.0	0.0	0.0
		2回目 (N=58)	56.9	41.4	1.7	0.0
		3回目 (N=55)	61.9	34.5	1.8	1.8
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか	1回目 (N=58)	51.7	46.6	1.7	0.0
		2回目 (N=57)	61.4	38.6	0.0	0.0
		3回目 (N=54)	59.3	40.7	0.0	0.0
	新人看護職員の精神的支援について理解できましたか	1回目 (N=57)	56.1	43.9	0.0	0.0
		2回目 (N=57)	54.3	43.9	1.8	0.0
		3回目 (N=49)	57.1	38.8	4.1	0.0
	自部署における研修計画立案と実施・評価、看護技術の指導・評価方法について理解できましたか	1回目 (N=54)	53.7	46.3	0.0	0.0
		2回目 (N=54)	55.5	42.6	1.9	0.0
		3回目 (N=46)	69.5	28.3	2.2	0.0
	新人看護職員への教育的関わりや精神的支援の課題解決について理解できましたか	1回目 (N=43)	67.4	32.6	0.0	0.0
		2回目 (N=41)	73.2	24.4	0.0	2.4
		3回目 (N=35)	88.5	8.6	2.9	0.0

(%)

満足度	項目	回数	満足度			
			とても満足できた	満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった
満足度	【1日目研修】満足度	1回目 (N=58)	69.0	29.3	1.7	0.0
		2回目 (N=58)	58.7	37.9	3.4	0.0
		3回目 (N=55)	61.8	36.4	0.0	1.8
	【2日目研修】満足度	1回目 (N=58)	62.1	37.9	0.0	0.0
		2回目 (N=57)	49.1	50.9	0.0	0.0
		3回目 (N=54)	46.2	51.9	1.9	0.0
	【3日目研修】満足度	1回目 (N=57)	52.6	47.4	0.0	0.0
		2回目 (N=57)	49.1	50.9	0.0	0.0
		3回目 (N=49)	51.0	44.9	4.1	0.0
	【4日目研修】満足度	1回目 (N=54)	51.8	46.3	0.0	1.9
		2回目 (N=54)	53.7	44.4	1.9	0.0
		3回目 (N=46)	58.7	34.8	6.5	0.0
	【5日目研修】満足度	1回目 (N=43)	69.8	27.9	0.0	2.3
		2回目 (N=41)	80.5	19.5	0.0	0.0
		3回目 (N=35)	82.8	14.3	2.9	0.0

(%)

役立ち度	項目	回数	役立ち度			
			活用できそう	まあまあ活用できそう	あまり活用できそうにない	活用できそうにない
役立ち度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と実地指導者の役割について活用できそうですか	1回目 (N=58)	58.6	41.4	0.0	0.0
		2回目 (N=58)	51.7	48.3	0.0	0.0
		3回目 (N=55)	74.6	23.6	1.8	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について活用できそうですか	1回目 (N=58)	60.3	39.7	0.0	0.0
		2回目 (N=57)	64.9	35.1	0.0	0.0
		3回目 (N=54)	74.1	25.9	0.0	0.0
	新人看護職員の精神的支援について活用できそうですか	1回目 (N=57)	70.2	29.8	0.0	0.0
		2回目 (N=57)	54.3	43.9	1.8	0.0
		3回目 (N=49)	69.4	28.6	2.0	0.0
	自部署における研修計画立案と実施・評価、看護技術の指導・評価方法について活用できそうですか	1回目 (N=54)	66.7	33.3	0.0	0.0
		2回目 (N=54)	66.6	31.5	1.9	0.0
		3回目 (N=46)	78.3	17.4	4.3	0.0
	新人看護職員への教育的関わりや精神的支援の課題解決について活用できそうですか	1回目 (N=43)	81.4	18.6	0.0	0.0
		2回目 (N=41)	82.9	17.1	0.0	0.0
		3回目 (N=35)	97.1	0.0	2.9	0.0

(9) まとめ

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全日程オンライン研修へ変更して実施した。

オンライン研修の受講が初めてという受講者も多く、研修初日は不安と緊張が大きかった印象であった。しかし、研修4日目のグループワークでは、どのグループも活発に意見を出し合い看護技術指導案を作成し、全体共有することができた。また、最終日のフォローアップ研修でも、問題なく実践報告発表や意見交換ができた。受講者からは「他施設の現状や実践報告を聞くことができ、大変刺激になった。」「この研修での学びを新人指導の場に活かしていきたい。」等の感想が多かった。

アンケート結果は、理解度・満足度・役立ち度いずれも高い評価であり、オンライン研修でも学習効果は得られ、研修目標は達成できたと考える。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 4) 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業（県補助）

- (1) 目的：県内病院施設がアドバイザーの支援を受け、主体的に新人看護職員研修の課題を明らかにし、その課題達成を通して自施設の理念に基づいた新人看護職員研修体制を整備する事を目的とする。
- (2) 事業対象：  
**【受入施設】**  
 「新人看護職員研修ガイドライン」に基づいた新人看護職員研修体制が未整備で整備を考えている、あるいは既存の研修体制や研修プログラムに課題があると感じている福岡県内の病院施設を募り、選定する。  
**【アドバイザー】**  
 受入施設における現状把握・分析・課題抽出を行い、新人看護職員研修体制整備の支援する病院施設を県内より選出する。
- (3) 実施内容：受入施設は、施設内にこの事業に関する責任者を配置し、派遣されるアドバイザーより指導を受けながら、現状分析・課題抽出を行う。その課題をアドバイザーより助言・指導等の支援を受けながら解決し、新人看護職員研修体制を整備する。また、実施を所定の記録様式にまとめ、福岡県看護協会へ提出する。
- (4) 実施期間：原則2年間
- (5) 選定基準：  
**【受入施設】**  
 ①新人看護職員の入職、もしくは見込みがある病院  
 ②新人看護職員研修プログラムが未策定、もしくは現在の研修計画に課題があると感じている病院  
 ③病院内における看護部門の位置づけ及び看護組織が明確である  
 ④看護理念及び目的・目標が作成され、評価されている  
 ⑤事業に関する責任者を配置することができる  
 ※但し、研修責任者研修受講修了者を、事業に関する責任者として配置することが望ましい  
**【アドバイザー施設】**  
 ①新人看護職員研修体制を整備している病院の研修責任者、看護部長から推薦を受けた継続教育担当の経験を有する管理者、それ相当の実務経験者  
 ②地域において新人看護職員研修を受け入れている病院の研修責任者、それ相当の実務経験者  
 ※受入施設のある地域から選出することが望ましい
- (6) 派遣先および派遣日時  
 受入施設：医療法人 古森病院（事業1年目）  
 アドバイザー：江口 恭世（九州大学病院）

回数	日時	派遣方法	内容
1回目	7/27（火） 15:00～17:00	福岡県看護協会にて 初回面談	事業概要説明 受入施設の現状と課題について
2回目	11/11（木） 14:30～16:30	施設訪問	教育体制整備について 看護部教育理念について 教育計画の課題整理について
3回目	R.4年2/10（木） 14:30～16:30	Zoom会議	教育体制の組織図等の明示について 教育計画や看護手順の整理活用について 指導者育成と教育に対する風土づくりについて

#### (7) まとめ

今年度は新規の1施設に対して事業を展開した。

7月の事業概要説明を兼ねた初回面談会より支援を開始し、アドバイザーによる直接の施設訪問やZoomによるオンライン面談を実施した。

今年度は、受入施設の教育体制整備に関する課題整理を行い、アドバイザーからの助言を参考に、受入施設が主体的に教育組織体制構築の検討を進められた。計3回の面談であったが、アドバイザーと一緒に課題整理から入ることで、具体的な取り組みにつながったと考える。

4. 福岡県看護職員認知症対応力向上研修【オンライン研修】（県委託）

- 1) 目的：認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達することで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施と、マネジメント体制の構築を目的とする。
- 2) 実施主体：福岡県
- 3) 対象者：福岡県内の医療機関等で勤務する指導的役割の看護職員（看護師長相当の者）
- 4) 受講料：無料（資料代 3,000 円）
- 5) 修了要件：全日程を受講した者に県知事名で修了証書が発行される。
- 6) 研修期間：3日間（18時間） 12/21(火)・12/22(水)・12/23(木)または12/24(金)（12/23・12/24：60名ずつ）
- 7) カリキュラム

項目	時間数	ねらい	到達目標
I. 基本知識 (講義)	180分	認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する	病院勤務の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる
II. 対応力向上 (講義・演習)	講義 330分 演習 150分	個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力（アセスメント、看護方法・技術、院内外連携手法）を習得する	1. 入院及び退院支援に必要となるアセスメントを実施し、適切に院内外に連携することができる 2. せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる
III. マネジメント (講義・演習)	講義 180分 演習 240分	マネジメント(人員、環境、情報管理等)の実践的な対応方法及び教育技能を習得する	1. 各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる 2. 自施設における看護職員への研修(本研修Ⅰ.基本知識編相当)を実施することができる

8) 研修プログラム

項目	講義内容	講師
12/21 (火)	I. 基本知識 (講義) II. 対応力向上 (講義)	今津赤十字病院 濱崎 しのぶ
12/22 (水)	II. 対応力向上 (講義・演習)	田主丸中央病院 福嶺 初美
12/23 (木) 12/24 (金)	II. マネジメント (講義)	田主丸中央病院 福嶺 初美
	III. マネジメント (演習)	久留米大学病院 西村 知子 (リーダー) 小倉記念病院 吉里 美貴 たたらりハビリテーション病院 外田 加奈美 新小倉病院 長久 友梨 今津赤十字病院 濱崎 しのぶ 田主丸中央病院 福嶺 初美

9) 受講状況

(人)

定員	応募者数	決定者数	研修日	受講者数	修了者数
120	132	132	1日目	129	128
			2日目	129	
			3日目	129	

10) まとめ

指導的役割（看護師長相当）の看護師対象の研修であるため、昨年度より、「自施設における認知症ケアの現状をSWOT分析する」ことを事前課題とした。昨年度同様、自施設の状況を詳細に調べており、具体的な内容で活発に意見交換ができていた。事前課題は今後も継続する必要があると考える。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、完全オンライン研修とした。あらかじめ司会・書記を選定し受講者に通知しておいたことで、スムーズにグループワークが進行できていたため、効果的であったと考える。

## 5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修（感染管理委員会）（県委託）

- 1) 目的：感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師が配置されない医療機関における看護職員の感染管理能力の向上を図るため、各施設の看護部でリーダーとして感染管理に取り組む看護師を育成すること。
- 2) 実施主体：福岡県
- 3) 対象者：感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師ではない看護職員  
感染対策において指導的立場にある者、もしくはこれから指導的立場となる看護職員
- 4) 受講料：無料
- 5) 募集、選考、決定：福岡県
- 6) 修了要件：全日程を受講した者に県知事名で修了証書が発行される。
- 7) 研修期間：4日間
- 8) 研修プログラム

項目	時間数				項目	主な内容	講師
	1回目	2回目	3回目	4回目			
1日目	8/3 (火)	8/4 (水)	/	/	感染症とは	感染症に関する基礎知識	飯塚病院 的野 多加志
					感染管理マネジメント	感染管理における看護師の役割 リーダーシップ 感染管理の組織化	福岡徳洲会病院 伊藤 恭子 大牟田市立病院 川後田 美穂子
2日目 (ハイブリッド)	10/5 (火)	10/16 (土)	/	/	感染管理対策の実際	標準予防策 感染経路別予防策 病原体別予防策 手指衛生・防護具の使用 方法 組織としての感染対策 クラスター発生時の対応	姫野病院 中西 穂波 九州労災病院 安部 美和
3日目	10/23 (土)	11/3 (祝)	11/4 (木)	11/15 (月)	演習	感染対策マニュアルの作成・改訂 組織における感染管理活動の 実際 自施設の感染管理に対する課題 の整理と対策立案	福岡徳洲会病院 伊藤 恭子 九州労災病院 安部 美和 大牟田市立病院 川後田 美穂子 総合せき損センター 松本 正幸 小倉記念病院 山下 恵美 白十字病院 山口 佐月 福岡ゆたか中央病院 中山 佐代子 姫野病院 中西 穂波
4日目 (ハイブリッド)	R4年 3/3 (木)	R4年 3/5 (土)	/	/	演習	【フォローアップ】 取り組み報告及び今後の活動に 向けた対策の検討	

## 9) 受講状況

(人)

定員	応募者数	決定者数	研修日	受講者数
400	436	400	1日目	375
			2日目	370
			3日目	365
			4日目	356

## 10) まとめ

今年度初めて福岡県よりの委託を受けて開催した。感染管理委員が企画の段階から関わり、講師・演習講師をつとめた。2日間の講義の後、自施設での取り組み計画を立案し活動をした後、フォローアップ研修を行った。また、3日目の演習では自施設の感染対策マニュアルの改訂のポイント等を、4日目の演習では取り組み時の問題点等を演習講師から直接指導を受けることができた。段階的に学び～実践での活用～評価、と進むことができるプログラムであったと考える。取り組み内容は、講義で学んだ知識を活かしており、リーダーシップを発揮しながら活動できていた。

## V. 福岡県主催委託事業 (ナースセンター・事業部研修)

### 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

- 1) 病院等に就職したい方のための再就職支援研修
- 2) 介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修
- 3) 再就職のための看護技術セミナー（採血・注射編）
- 4) 再就職のための看護技術セミナー（喀痰吸引編）
- 5) 再就職のための看護技術セミナー（感染管理編）

### 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

- 1) 訪問看護師養成講習会（入門編）
- 2) 訪問看護師養成講習会（新任期）
- 3) 訪問看護師養成講習会（管理期）





## 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

### 1) 病院等に就職したい方のための再就職支援研修

- (1) 目的：看護職の免許保有者で現在看護職として未就業の者が、最近の看護に関する知識及び技術を再習得し看護職として再就職への意欲向上や就職につながる
- (2) 目標：①看護職として、必要な基本姿勢と態度について、再認識できる  
②医療・看護の現状を理解できる  
③最新の知識・技術を学び、再確認できる  
④再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（公益社団法人福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修プログラム

	日程		内容	講師
	1回目	2回目		
1日目	6/23 (水)	11/2 (火)	看護を取り巻く動向/看護職の役割/雇用形態について知る/就職先を選ぶ基準/再就職に向けての準備（家族との調整・自己学習等）	福岡県看護協会 大和 日美子
			医療・看護事故とは/看護師がよく遭遇するヒヤリハット事例と事故対策（転倒転落・与薬等）薬の知識/インシデント・事故発生時の対応	福岡赤十字病院 佐藤 章子
2日目	6/30 (水)	11/9 (火)	標準予防策について/看護場面における感染防止対策の実際	飯塚病院 丸谷 知実
			フィジカルアセスメントとは/循環器・呼吸器・脳神経系のアセスメントに必要な知識・技術	大牟田天領病院 藤崎 智文
3日目	7/8 (木)	11/18 (木)	【上半期】 新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設見学実習中止プログラム変更 午前：「福岡県看護行政の動向を知る」 講師：福岡県医療介護部医療指導課医師看護職員確保対策室看護職員確保班長 大内田 由香 午後：「潜在看護師を受け入れている病院の立場から」 講義・演習（グループワーク）講師：福岡和仁会病院 久富 美和子  【下半期】 施設見学実習	
4日目	7/12 (月)	11/26 (金)	看護記録の基礎知識（目的・意義・法的位置づけ）/看護記録のポイント/電子カルテの仕組み	福岡大学病院 栗山 亜希子
			医薬品の分類・特性・使用方法/間違えやすい薬剤/添付文章やラベルの見方	福岡大学筑紫病院 今給黎 修
			再就職における応募書類の作成・面接について	福岡中央公共職業安定所 山中 雄一郎
			研修まとめ（再就職支援に向けて）	福岡県ナースセンター 就労相談支援員

### (7) 受講状況 (人)

回数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	40	19	19	14	10
2回目	40	29	29	21	12

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

### (8) アンケート結果 (%)

理解度 (N=13)	項目	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
		上半期【6/23・6/30・7/8・7/12】	84.6	15.4	0.0	0.0
(N=21)	下半期【11/2・11/9・11/18・11/26】	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=13)	項目	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
		上半期【6/23・6/30・7/8・7/12】	84.6	15.4	0.0	0.0
(N=21)	下半期【11/2・11/9・11/18・11/26】	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

### (9) まとめ

新型コロナウイルス感染症拡大のため、上半期の施設見学実習は実施せず、内容を変更し開催。下半期は感染対策について事前に施設と調整し見学実習を実施した。上半期は、施設見学がないため、応募を辞退する方がいたが、アンケート結果では、理解度・役立ち度ともに高い評価であり、目的・目標は達成できたと考える。「医療現場での実習を終え、看護職へ戻りたい気持ちが高まった」など再就職への意欲向上にも繋がっている。

# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 2) 介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修

- (1) 目的：看護職の免許所有者で現在看護職として未就業の者が、介護保険施設における看護の基礎知識及び技術を学ぶことで興味や関心が高まり、看護職として再就職への意欲向上や就職につながる
- (2) 目標：①介護保険施設等の看護の役割や機能を理解できる  
 ②介護保険施設等の看護の実際を学び理解を深められる  
 ③介護保険施設等の看護について興味や関心が高まる  
 ④再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（公益社団法人福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修プログラム

	日程	学習内容	講師
1日目	9/6 (月)	地域包括ケアシステム / 介護施設の機能 介護施設等における看護の役割について / 介護施設等 における多職種協働について *コロナ感染所拡大の為 【zoom】 開催	看護小規模多機能 居宅介護すびか☆くるめ 真木 隆子
		感染予防策の基本 / 標準予防策の実際 / 介護施設にお ける感染への対応 *コロナ感染症拡大のため日程変更 9/30 へ 【zoom】	公益社団法人健和会 戸畑けんわ病院 佐藤 広子
2日目	9/14 (火)	施設見学実習 *コロナ感染症拡大のため日程変更 10/19.10/27 へ変更	
3日目	9/30 (木)	福岡県における介護・高齢者福祉の現状 / 施設におけ る看護職と介護職・介護支援専門員の連携	福岡県老人福祉施設協議会 副会長 松尾 宗敏
		研修の振り返り / ナースセンター紹介	研修担当

## (7) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
30	14	14	11	7

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (8) アンケート結果 (%)

理解度 N=11	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	70	30	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 N=11	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立た ない	未回答
	70	30	0.0	0.0	0.0

## (9) まとめ

この研修は、介護保険施設への就業促進を目的とし、令和3年度より新規に立ち上げて開催している。介護施設における、基礎知識や看護職に期待される役割などを講義内容とし、施設見学実習も計画した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設見学の日程を変更して開催したが「事前に基礎知識を学んだので、イメージをもって実習先に望めた」「頭の中が病院の看護のままだと気が付いた」などの声が聞かれている。アンケート結果も一定の評価を得ているため、研修の目的と目標は達成できたと考える。

1. 看護職員復職研修事業（県委託）

3) 再就職のための看護技術セミナー（採血・注射編）

- (1) 目的：看護職の免許保有者で現在看護職として未就業者の者が、採血・注射に関する知識・技術を再習得し、看護職として再就職への意欲向上や就職につながる
- (2) 目標：①採血・注射に関する知識及び技術を再確認できる  
②知識・技術を再習得することで、再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（公益社団法人福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業者で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：材料費 1,000 円
- (6) 開催場所・講師

回数	日程	内容	講師/演習補助
1回目	5 / 20 (木)	真空管採血（直針・翼状針）・点滴静脈注射についてD V D学習・講義・演習	済生会福岡病院 山崎 千穂/山口 敦子/宮崎 直子
2回目	6 / 9 (水)		福岡大学病院 竹下 恵美/和田 裕子
3回目	7 / 20 (火)		済生会福岡病院 山崎 千穂/山口 敦子
4回目	7 / 26 (月)		北九州市立医療センター 駒谷 祥子/古賀 亜佐子
5回目	8 / 25 (水)		久留米大学病院 小方 和恵
6回目	8 / 31 (火)		済生会福岡病院 山崎 千穂/山口 敦子
7回目	10 / 7 (木)		九州大学病院 衛藤 亜希奈/永松 知夏
8回目	11 / 10 (水)		
9回目	12 / 14 (火)		
10回目	R.4 年 1 / 26 (水)		福岡市民病院 荒岡 佳佑/入口 仁美
11回目	R.4 年 2 / 15 (火)		
12回目	R.4 年 3 / 2 (水)		

\* 8/25 久留米大学病院開催分は非常事態宣言中のため本所で開催

(7) 受講状況

(人)

回数	日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	5 / 20 (木)	15	19	19	16	13
2回目	6 / 9 (水)	10	11	11	11	7
3回目	7 / 20 (火)	15	15	15	14	7
4回目	7 / 26 (月)	10	11	11	10	4
5回目	8 / 25 (水)	10	5	5	5	4
6回目	8 / 31 (火)	15	17	17	14	12
7回目	10 / 7 (木)	15	14	14	10	5
8回目	11 / 10 (水)	15	14	14	12	7
9回目	12 / 14 (火)	15	16	16	14	4
10回目	R.4 年 1 / 26 (水)	15	16	16	11	2
11回目	R.4 年 2 / 15 (火)	15	13	13	11	6
12回目	R.4 年 3 / 2 (水)	15	14	14	13	5

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (8) アンケート結果

(%)

理解度	回数	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	1回目 (N=16)	93.8	6.3	0.0	0.0	0.0
	2回目 (N=11)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=14)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	4回目 (N=10)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5回目 (N=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6回目 (N=14)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	7回目 (N=10)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	8回目 (N=12)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	9回目 (N=14)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	10回目 (N=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0
	11回目 (N=11)	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0
	12回目 (N=13)	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	回数	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	1回目 (N=16)	93.8	6.3	0.0	0.0	0.0
	2回目 (N=11)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=14)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	4回目 (N=10)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	5回目 (N=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6回目 (N=14)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	7回目 (N=10)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	8回目 (N=12)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	9回目 (N=14)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	10回目 (N=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0
	11回目 (N=11)	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0
	12回目 (N=13)	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0

## (9) まとめ

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、演習時はフェイスシールド・アクリル板を使用し、非常事態宣言中も実施した。(計4回)アンケート結果では「採血は必ず必要となるので、実習できてよかった」「久しぶりに採血や点滴が出来て再就職に向けて自信になりました」等、一定の評価は得ており目的・目標は達成できたと考える。採血の研修の受講希望者は多く、お断りすることも多くみられていた。令和4年度より、定員を15名から20名とし就業の時期に合わせた受講ができるようにしていく予定である。また、福岡県より「定員に余裕がある場合は就業者のステップアップの場として機会を設けるよう」要請があったため、受講要件の修正をしていく予定である。

## 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 4) 再就職のための看護技術セミナー（喀痰吸引編）

- (1) 目的：看護職の免許保有者で現在看護職として未就業の者が、喀痰吸引に関する知識・技術を再習得し、看護職として再就職の意欲向上や就職へつながる
- (2) 目標：①最新の喀痰吸引に関する知識及び技術を再確認できる  
②知識・技術を再習得することで、再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（公益社団法人福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業者で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修内容：①喀痰吸引に必要な基礎知識  
②口腔内吸引・鼻腔内吸引：演習  
③気管内吸引：演習
- (7) 講師：福岡大学病院 押川 麻美 演習補助：福岡大学病院 安倍 朋子 / 井野 祐太
- (8) 受講状況 (人)

回数	日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	7/13 (火)	20	17	17	16	10
2回目	10/26 (火)	20	12	12	11	8
3回目	R.4年2/17 (木)	20	19	19	15	8

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (9) アンケート結果 (%)

理解度	回数	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	1回目 (N=16)	81.3	18.8	0.0	0.0	0.0
	2回目 (N=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=15)	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	回数	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	1回目 (N=16)	81.3	18.8	0.0	0.0	0.0
	2回目 (N=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=15)	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

受講生より「吸引の手技を間違えていたことを再確認できてよかった。自信がついた」「根拠のある手技や処置の変化に驚いた」などの感想を得ている。特に演習では、講師へ質問がしやすい環境にあるため、より理解しやすく実践に活かせる内容となっている。アンケート結果からも、一定の評価を得ており研修の目的や目標は達成できていると評価する。

# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 5) 再就職のための看護技術セミナー（感染管理編）

- (1) 目的：看護職の免許所有者で現在看護職として未就業の者が、感染管理に関する知識・技術を再習得し看護職として再就職への意欲向上や就職へつながる
- (2) 目標：①最新の感染管理に関する知識及び技術を再確認できる  
②知識・技術を再習得することで、再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（公益社団法人福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修内容：①標準予防策について  
②衛生的手洗い：演習  
③个人防护具（PPE）の着脱：演習
- (7) 講師：九州がんセンター 村武 明子
- (8) 受講状況 (人)

回数	日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	6/29（火）	20	14	14	11	8
2回目	8/26（木）	20	18	18	16	14
3回目	R.4年2/9（水）	20	15	15	13	8

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (9) アンケート結果 (%)

理解度	回数	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	1回目（N=11）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2回目（N=16）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3回目（N=12）	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	回数	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	1回目（N=11）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2回目（N=16）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3回目（N=12）	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

令和2年度、コロナ禍による潜在看護師の確保を目的にスキルギャップ研修（医療安全・感染管理）を実施していた。令和3年度は感染管理に対する知識や技術の再習得を継続し支援するため、「感染管理編」として立ち上げている。認定看護師による手洗いの演習では、「自分の足りていない部分が見えてわかり勉強になった」「コロナ禍とても役経つセミナーでした」「必要なことを学べ、再就職したときに活かしていけそうです」など感想が聞かれている。アンケート結果からも、研修の目的や目標は達成したと評価する。

## 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

## 1) 訪問看護師養成講習会（入門編）

- (1) 目的：訪問看護に関心がある、または訪問看護を目指している看護職の就労意欲を高め、訪問看護師に進む動機づけを強化する。
- (2) 目標：①訪問看護の概要を理解し、「訪問看護がやれそう」「やってみよう」という気持ちになれる。  
②訪問看護に新たな活躍の場を見出し、就労意欲を高めることが出来る。  
③訪問看護を目指す看護職が実際に一歩踏み出すための動機づけを強化できる。
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（公益社団法人 福岡県看護協会））
- (4) 対象者：①プラチナナース（定年退職後や定年退職を迎える看護職）  
②訪問看護に関心がある、または訪問看護を目指したい看護職
- (5) 受講料：無料（資料代：6,000円）
- (6) 研修プログラム

日程	講義内容	講師
11/2（火）	訪問看護概論 ～訪問看護とは～	福岡赤十字病院 井手 麻利子
	訪問看護の基礎的技術	浜の町病院 大久保 志保
11/8（金）～ 11/26（火）	訪問看護ステーション実習	県内 訪問看護ステーション
11/30（火）	セカンドライフに備える生活設計	オスカー社会保険労務士法人 井上 泉
	訪問看護の魅力 新任訪問看護師の実践発表	楽しくサポートセンターレスピケアナース 山田 真理子
	ナースセンター紹介／グループワーク	福岡県ナースセンター 田原 麻子

## (7) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
30	31	31	23	23

## (8) 公開講座 受講状況 (人)

日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数
11/30	20	22	22	18

## (9) アンケート結果 (%)

理解度	日程	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	11/2 (N=22)	77.3	22.7	0.0	0.0	0.0
	11/30 (N=21)	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0

(% )

役立ち度	日程	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	11/2 (N=22)	86.4	13.6	0.0	0.0	0.0
	11/30 (N=21)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

今年度初めての企画として実施。当初の締切時点では応募が少なく、eナースセンター登録者より対象を絞ってメールを送信し、定員に近い人数の応募があった。実習を取り入れたことで、アンケート結果より「実際の見学で訪問看護の魅力を知れた」という声や、「興味関心が高まった・やや高まった」90.5%、「訪問看護をやってみようという気持ちになった・ややなった」95.2%の回答があった。また、研修終了後に未就業者（8名）のうち1名が、実習施設での就職が決定した。

今回、対象とした「プラチナナース（50～60代）」の受講は全体の約39.1%であった。講義内容に「年金制度」等の内容を組み込んだが、アンケートからは、「訪問看護の研修でこの内容がなぜあるのか？」と違和感を感じた受講者も数名いた。講義内容としては、別枠での実施とするか検討が必要。

## 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

### 2) 訪問看護師養成講習会（新任期）

- (1) 目的：訪問看護に従事するもしくは従事しようとする看護師等が訪問看護に必要な基本的知識・技術を習得することでケアの質の向上、就労意欲の向上から就労定着を強化する。
- (2) 目標：訪問看護に必要な知識・技術を修得し、正確で安全な訪問看護を実践できる。
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：公益社団法人福岡県看護協会）
- (4) 対象者：訪問看護に従事して3年未満の看護職（従事予定者を含む）
- (5) 受講料：無料（資料代：18,000円）
- (6) 修了証：実施主体が受講要件を満たした者に発行
- (7) 研修プログラム

日程	講義内容	講師
6/16～8/31	訪問看護eラーニング（日本訪問看護財団訪問看護eラーニング）：自己学習	
6/16（水）	訪問看護概論 ～訪問看護行政の動向～	福岡県医療指導課医師・看護職員確保対策室 大内田 由香
	訪問看護の役割・機能・特性・諸制度の概要 ～地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割～	楽らくサポートセンターレスピケアナース 山田 真理子
7/6（火）	訪問看護展開論	良創夢訪問看護ステーション 片田 弥生
	訪問看護に求められるコミュニケーションスキル	有限会社コミュニケーションデザイン研究所 渡邊 直子
8/4（水）	在宅療養者への感染対策	久留米大学病院 三浦 美穂
9/7（火）	フィジカルアセスメント	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 川鍋 育郎
	急変時の看護	土倉内科循環器科クリニック 土倉 万代
10/6（水）	訪問看護に役立つ呼吸管理	宇都宮内科医院 城石 涼太
11/10（水）	エンド オブ ライフケア	訪問看護ステーションつばさ 小野 幸代
	情報交換会	在宅支援・訪問看護委員会委員
9/1～10/30	施設実習3日間（県内保健所・地域包括支援センター・保健医療福祉施設・訪問看護ステーション）	

### (8) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
50	52	52	48	48

### (9) 公開講座 受講状況 (人)

日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数
8/4	10	13	13	13
10/6	10	13	13	10



## (10) アンケート結果 (％)

理解度 (N=48)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	60.4	39.6	0.0	0.0	0.0

(％)

満足度 (N=48)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

(％)

役立ち度 (N=48)	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	95.8	4.2	0.0	0.0	0.0

## (11) まとめ

今年度より開始したeラーニングについては、「訪問看護STは規模が小さく、研修受講のために休みをなかなか確保できないため、自分のペースで学べることはよかった」という好意的な意見が多く聞かれた反面、集合研修が25日から6日に減ったことで、「他施設の受講者との意見交換する機会がもっと欲しかった」という声も聴かれていた。コロナ禍における実習についても、急な日程変更や事前PCR検査等で短期間に3か所（保健所・地域包括支援センター・訪問看護ST）の実習は大変だったとの声もあった。今回の受講者の反応を踏まえながら、次年度の研修企画に活かしていきたい。

## 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

### 3) 訪問看護師養成講習会（管理期）

- (1) 目的：社会のニーズに相応した質の高い訪問看護サービスを安定的に提供するために、訪問看護ステーションの管理者に必要な能力を高め、安定的な事業所運営と訪問看護師の人材確保・定着に繋げる。
- (2) 目標：管理者に必要な知識・技術・態度及びステーション運営の基礎を学び、管理者の役割を果たせる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：公益社団法人福岡県看護協会）
- (4) 対象者：訪問看護ステーションの管理者（管理者候補、管理的立場の看護職も含む）
- (5) 受講料：無料（資料代：10,000円）
- (6) 修了証：実施主体が受講要件を満たした者に発行
- (7) 研修プログラム

日程	講義内容	講師
8月中旬～ 9月中旬	訪問看護管理（日本看護協会 訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラム） 【内容】 講義・確認テスト（動画視聴 8時間）	
9/22 (水)	地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割と質の管理	福岡赤十字病院 井手 麻利子
	訪問看護をめぐる動向と訪問看護に関わる諸制度・報酬	アイエック訪問看護ステーション 國本 智江美
10/16 (土)	管理者が知っておきたいリスクマネジメント	聖マリア病院 樋口 由美子
	訪問看護ステーションにおける労務管理 ～働き続けられる訪問看護ステーションとは～	オスカー社会保険労務士法人 多田 薫
11/11 (木)	訪問看護導入期の初期アセスメントカススキルアップ	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
	チームビルディングとチームマネジメント	コミュニケーションデザイン研究所 渡邊 直子
11/20 (土)	組織分析と地域アセスメントによる経営戦略 ～地域に必要とされる訪問看護ステーションとなるために～	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
	取り組み課題のアクションプラン立案・実施	
R4年 2/16 (水)	取り組み計画の評価・グループワーク 発表会	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美

※ 2月16日は感染拡大のために開催中止し、文書での報告に変更

### (8) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
30	26	26	21	19

### (9) 公開講座 受講状況 (人)

日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数
11/11	10	17	17	11

## (10) アンケート結果 (％)

理解度 (N=19)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	26.3	68.4	5.3	0.0	0.0

(％)

満足度 (N=19)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	63.1	31.6	5.3	0.0	0.0

(％)

役立ち度 (N=19)	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	73.7	26.3	0.0	0.0	0.0

## (11) まとめ

今年度より、日本看護協会の「訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラム」を事前学習として活用して実施した。事前学習で学んだ内容を基に集合研修ではより知識を深め、自己の課題をアクションプランとして作成し、実践につなげた。最終日にその実践内容を発表し、学習成果の共有することで課題解決力の向上を期待していたが、新型コロナウイルス感染状況に伴い、昨年同様書面での実践報告として、報告集を作成した。そのため、アンケート結果では「互いの課題を共有し、意見交換したかった」という希望する声が多く聞かれていた。次年度は、コロナ禍でも受講者同士が効果的な意見交換、実践評価ができる方法を検討していく必要がある。



## VI. 新型コロナワクチン接種関連研修

- 1) 新型コロナワクチン接種のための実技講習会  
(公益社団法人日本看護協会委託)
- 2) 新型コロナワクチン接種実技研修  
(公益社団法人日本看護協会委託)



## 1. 新型コロナワクチン接種のための実技講習会（公益社団法人日本看護協会委託）

- (1) 目的：新型コロナワクチン接種が安全に行われるよう、潜在看護師等をサポートし、今後の自治体等からの看護職の応援要請に対し協力をすることを目的とする
- (2) 実施主体：公益社団法人福岡県看護協会
- (3) 対象者：（以下の3点を満たす者）  
 ①看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）  
 ②ワクチン接種協力を予定・検討中  
 ③福岡県内在住又は勤務地が県内
- (4) 受講料：無料
- (5) 開催日程・講師

回数	日程	内容	講師/演習補助
1回目	6/4（金）10:00～12:00	動画視聴 ①新型コロナウイルスの基本知識 ②ワクチンを安全に接種するための注意とポイント ③ワクチンの希釈手順 ワクチン接種の実技（演習）	九州がんセンター 村武 明子
2回目	6/4（金）13:30～15:30		九州がんセンター 村武 明子
3回目	6/11（金）10:00～12:00		福岡赤十字病院 橋本 香織
4回目	6/11（金）13:30～15:30		福岡赤十字病院 橋本 香織
5回目	6/12（土）10:00～12:00		福岡大学筑紫病院 渡邊 直美
6回目	6/12（土）13:30～15:30		福岡大学筑紫病院 渡邊 直美
7回目	6/24（木）10:00～12:00		飯塚病院 丸谷 和実
8回目	6/24（木）13:30～15:30		飯塚病院 丸谷 和実

## (6) 受講状況 (人)

回数	日程	定員	受講者数
1回目	6/4（金）10:00～12:00	20	20
2回目	6/4（金）13:30～15:30	20	18
3回目	6/11（金）10:00～12:00	20	20
4回目	6/11（金）13:30～15:30	20	20
5回目	6/12（土）10:00～12:00	20	19
6回目	6/12（土）13:30～15:30	20	18
7回目	6/24（木）10:00～12:00	20	18
8回目	6/24（木）13:30～15:30	20	20

## (7) まとめ

新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種が開始され、打ち手としての看護職の確保が必要であったため、急遽本講習会を開催し、不安なく安全にワクチン接種業務に携われるように支援した。広報は、福岡県、福岡県医師会、ナースセンターの協力を得るとともに、県協会のホームページを使い行った。研修後のアンケートでは、全員が就労への自信に繋がったと答えた。また、講習会後に希望者はナースセンターを紹介し、就労行動へ繋げた。

## 2) 新型コロナワクチン接種実技研修（公益社団法人日本看護協会委託）

- (1) 目的：新型コロナワクチン接種が安全に行われるよう、潜在看護師等をサポートし、新型コロナワクチン接種が安全に実施できるよう、知識及び技術を再習得できる
- (2) 目標：①新型コロナウィルスの基本的知識を学ぶことができる（動画で各自事前学習）  
 ②ワクチンを安全に接種するための注意とポイントがわかる（動画で各自事前学習）  
 ③ワクチンの希釈手順がわかる（動画で各自事前学習）  
 ④ワクチン接種に必要な筋肉注射の手技を再確認できる
- (3) 実施主体：公益社団法人福岡県看護協会 福岡県ナースセンター
- (4) 対象者：（以下の5点を満たす者）  
 ①看護経験がある潜在看護職等（保健師・助産師・看護師・准看護師）  
 ②eナースセンター登録者  
 ③ワクチン接種に従事予定  
 ④福岡県内在住又は就業予定先が県内  
 ⑤指定された事前学習（動画）を終了し実技研修受講の機会がない
- (5) 受講料：無料
- (6) 開催日程・講師

回数	日程	内容	講師/演習補助
1回目	9/28（火）10:00～11:00	動画視聴 新型コロナワクチンより安全な新しい 筋注の方法	福岡県ナースセンター 就労相談支援員 田原 麻子
2回目	9/28（火）13:00～14:00		
3回目	10/5（火）10:00～11:00		
4回目	10/5（火）13:00～14:00	実技 上腕筋肉シミュレータを使用したワクチン接種に必要な筋肉注射の実技	
5回目	10/13（水）10:00～11:00		
6回目	10/13（水）13:00～14:00		

### (7) 受講状況 (人)

回数	日程	定員	受講者数
1回目	9/28（火）10:00～11:00	5	5
2回目	9/28（火）13:00～14:00	5	4
3回目	10/5（火）10:00～11:00	5	4
4回目	10/5（火）13:00～14:00	5	2
5回目	10/13（水）10:00～11:00	5	5
6回目	10/13（水）13:00～14:00	5	6

### (8) まとめ

日本看護協会よりコロナ禍における「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務[日本看護協会委託]」の委託を受け実施した研修である。受講者の年齢は30代～60代と幅広く、ワクチン接種業務をおし何か役に立ちたいという気持ちをもっている方の参加が多かった。実技演習は、質問しやすい状況や情報交換する場にもなっており、「ワクチン以外の仕事でも看護職として就業したい」という声も聞かれた。

研修受講後のアンケートでは、満足度、理解度とも9割以上が期待通り・理解できたと回答しており、研修の目的は達成したと考える。



## VII. 委員会企画交流会



## 1) 助産師職能委員会実施

## (1) 研修内容【オンライン研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
産科管理者交流会	地域における危機管理体制の強化、助産師を取り巻く状況・求められる課題を共有し助産師の発展に向けた活動を考える。	助産師職能委員会の動向・理事会報告／災害時に職員を守るマネジメント～コロナ禍をととして～／地区別グループワーク	田中産婦人科クリニック 石田 麗子

## (2) 受講状況 (人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
9/26 (日)	1	50	12	12	11

## (3) アンケート結果 (%)

満足度 (N=11)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	36.4	63.6	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=11)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (4) まとめ

参加者は総合病院から8名、クリニックから3名の計11名であり、職位は師長6名(54.5%)、副師長1名(9.1%)、主任3名(27.3%)、看護部長1名(9.1%)であった。

参加者の声として、「コロナ禍で各施設での対応を知ることができた」「コロナ禍等の危機的状況においては、管理者視点だけでなく、実務に携わるスタッフが中心となって業務基準・手順を検討する必要があると感じた」「他の病院の情報が得られた」「顔が見える関係づくりができた」「各施設の現状・取り組みについて知ることができた」「看護協会や県、国の動向について知ることができた」「管理者間でなければ聞けないこともあるので、有意義であった」などが挙げられた一方、「もう少し人数がいたら良かった」「交流会の時間が短かった」などの意見が寄せられた。

また、今後の課題として、助産師出向システムの活性化、対人関係の調整・人材育成、特定妊婦支援における地域連携の必要性が挙げられた。

このことから、令和4年度は「困難を抱える母子とその家族のための地域包括ケア」をテーマにシンポジウムを開催予定である。

## 2) 看護師職能委員会 I 実施

### (1) 研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
「看護師職能委員会 I」企画 意見交換会 ～新型コロナウイルス感染症対応に 関わる看護管理者の意見交換会～	新型コロナウイルス感染症の対応における看 護管理上の課題について (事例発表・質疑応答・グループワーク)	福岡大学病院 中川 朋子 福岡市民病院 田邊 郁子 夫婦石病院 後藤 裕子 福岡大学筑紫病院 樋口 靖子

### (2) 受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
「看護師職能委員会 I」企画意見交換会 ～新型コロナウイルス感染症対応に関わる 看護管理者の意見交換会～	11/6 (土)	1	50	47	47	44

### (3) アンケート結果

(%)

役立ち度 (N=43)	研修テーマ	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	「看護師職能委員会 I」企画意見交換会 ～新型コロナウイルス感染症対応に関わる 看護管理者の意見交換会～	48.8	51.2	0.0	0.0	0.0

### (4) まとめ

看護管理者は、未曾有の新型コロナウイルス感染症患者に対して情報交換を行う場が少ない中で奮闘してきた。そこで今回、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた現状や経過、看護管理者としての課題を発表する機会を企画した。主な内容は「大病院での ECMO センターの立ち上げや看護管理者のマネジメント力を発揮したプロセス」「コロナ受入病院でフェーズが急速に変化する中、患者の増加とともに組織を変化させたプロセスや看護管理者としての発信力」「中小病院での院内クラスター発生時の対応やその後振り返りを行う重要性」「コロナ受入病院でどのように寄り添う看護を実践したか等、具体的な看護実践やメンタルサポートの重要性」と、各々の看護管理者の在り方を学ぶことが出来た。講演後、参加者した看護管理者間でグループワークを行い、各施設の現状と課題について意見交換を行った。

研修終了後のアンケートでは「看護管理者としてビジョンを明確に発信し、組織化することの重要性を実感した」「他施設の取り組みを聞き、第6波の準備のヒントになった」「今後もコロナ対策について継続してほしい」などの意見が多く聞かれ、有益な意見交換の場となった。今後も看護管理者が語る企画を提供したいと考えている。

## 3) 社会経済福祉委員会実施

## (1) 研修内容【オンライン研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
みんなで目指すヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）	ヘルシーワークプレイス作りについて学び、その中でも組織全体で「働き方改革」や「多職種連携」で看護業務改善に取り組んだ2施設の報告を通して、自施設における課題解決に生かす	①ヘルシーワークプレイスとは ②働き方改革が必要な現状 ③看護現場に求められるもの（雇用主・管理者・労働者） ④事例報告 等	宇部フロンティア大学 原田 博子 公立羽咋病院 玉田 千秋 潤和会記念病院 小柳 優美子

## (2) 受講状況

(人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
10/27 (水)	1	100	110	110	91

## (3) まとめ

今年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、事前にWEB研修を計画し、問題なく実施できた。働き方改革を推進していく上で、ヘルシーワークプレイスの概念や組織全体で取り組んだ2事例の報告を行った。参加者は管理者およびスタッフが半数ずつ参加していた。管理者からは、「課題が明確になり参考になった」とのコメントがあり、スタッフからは「組織が取り組んでいる意味が理解できた」との意見が寄せられていた。今後は、管理者のみならず、スタッフへの理解がさらに進み、組織全体で働き続けられる職場を目指した企画を検討していきたい。

#### 4) 看護の進路・進学支援委員会実施

##### (1) 研修内容【オンライン研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
看護学校と職場の情報交換会 マスク越しの世界で基礎教育と新人教育について語り合おう ～ちょっと気になる学生・新人ナースの支援について～	看護師養成学校と職場が情報を交換する場を設け、学生や新人看護師の現状理解を深め、教育的課題を共有し、新たな教育の在り方を探る。	グループワーク 提供された話題やそれぞれの経験をもとに教育指導上の困難感、学生や新人看護師の社会的背景や言動の背景、教育指導における支援の工夫・成功事例等の情報共有を行う。	ファシリテーター 看護の進路・進学支援委員 他

##### (2) 受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
看護学校と職場の情報交換会	8/18 (水)	0.5	80	81	81	74

##### (3) アンケート結果

(%)

満足度 (N=64)	研修テーマ	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	看護学校と職場の情報交換会	76.6	23.4	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=64)	研修テーマ	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	看護学校と職場の情報交換会	56.3	37.5	4.7	0.0	1.5

##### (4) まとめ

例年、実施してきたこの情報交換会が、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、今年度は、初めてオンラインを活用して、実施することが出来た。

グループディスカッションを通して、学生指導や新人教育について、臨床と教育の場それぞれの支援方法等の意見交換・情報共有の場となった。

## 5) 在宅支援・訪問看護委員会実施

## (1) 研修内容【オンライン研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
訪問看護ステーションにおけるBCPを考える	感染症や非常災害時において訪問サービスの提供を継続的に実施するための事業継続計画（BCP）の策定に必要な知識や方法を学ぶ	BCP とは何かを理解する / 感染症発生時と自然災害時のBCP 策定 / 運用についての知識や方法	慶應義塾大学 山岸 暁美

## (2) 受講状況 (人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
9/19 (日)	1	50	58	58	53

## (3) アンケート結果 (%)

満足度 (N=47)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	46.8	44.7	8.5	0.0	0.0

(% )

役立ち度 (N=47)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	78.7	21.3	0.0	0.0	0.0

## (4) まとめ

初めての ZOOM 開催であったが、オンラインの方が参加しやすいという意見が多かった。一方でやはり対面の方が伝わりやすいという意見もあった。特にグループワークが上手くできなかったのが反省点である。各委員のファシリテーション力や事前の打ち合わせにも課題があったかと思う。参加者側がログインできないなどのトラブルもあったが、オンラインに慣れている参加者も多いと感じた。コロナ過の現状を考えるとオンライン研修を取り入れていくことが必須であり、委員会として運用の力量を上げることも重要と考える。

内容については、アンケートから分かるように実践に役立つ内容であった。訪問看護に特化した BCP 研修であったし、具体的なステップも参考になった。何から取り組んでいいかわからない状態から、これをやってみようという視点に変わった方も多いのではないかとアンケートから感じられた。今後、研修を企画する際は、訪問看護サミット等の研修に委員が実際に参加し、今の訪問看護に求められる知識や技術を肌で感じ、この方の話は響いたという講師を選ぶとよいと思う。それが現場で悩み困っている訪問看護師達の視点や捉え方を変えて、また明日からやってみようという元気になるような研修につながると考える。

## 編集後記

「令和3年度教育研修実績集」の発刊にあたり、講師の皆様、教育・研修を担当いただきました各委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。また、3年に渡る感染症の流行で多くの行動制約を受けているなかでも感染拡大に留意しながら研修に参加いただきました皆様へ感謝申し上げます。

令和3年度は計画していた研修は概ね開催することができました。また、研修方法としてオンデマンドやオンラインなどITを使用した研修を取り入れることを行いました。当初、私たち開催者も戸惑いながら行っておりましたが、次第にそのノウハウを積み上げていき、画面上でのグループワークもできるようになってまいりました。研修方法の変更が計画していた研修を概ね開催することができた要因となります。

今後もまだまだ予断を許さない状況が続くことが予測されるのですが、どのようなときも看護の質向上への寄与という使命を果たしていくよう努力して参ります。

今後とも皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【編集担当】

専務理事兼教育研修部長 石橋 薫  
教育研修部 野島 三千代・高野 智子・井上 真巳



Fukuoka Nursing Association

## 令和3年度 教育研修実績集

令和4年5月発行

編集・発行人 公益社団法人 福岡県看護協会  
〒812-0054 福岡市東区馬出4丁目10番1号  
電話092-631-1141(代)

印 刷 西日本ビジネス印刷株式会社  
〒810-0014 福岡市中央区平尾5-5-30  
電話092-531-4757(代)